

丹羽正太郎編

内
外
國
勢
一
斑

版權所有 林書房發行

凡例

一 此書ハ内務省出版第十三回國勢一斑内閣統計課編輯第十三統計

年鑑千八百九十四年英國出版ステーツマンズ・オイヤーブック其他

二三ノ書ニ據リ編輯タルモノナリ

此書ハ内外各國ニ於ル方今ノ大勢ヲ通觀スルヲ以テ目的トスル

小國ニ以テ其重要ナラサルモノハ之ヲ掲ケス

邦國ノ順序ハ亞細亞ニ起リ歐米各國ニ及フ其順次ノ如キハ人口

多寡ニ由リテ排置ス又殖民地保護領ノ面積人口ノ如キハ各本國

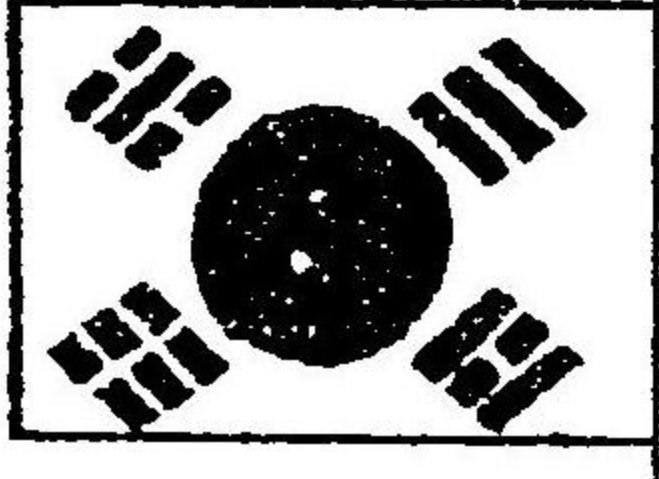
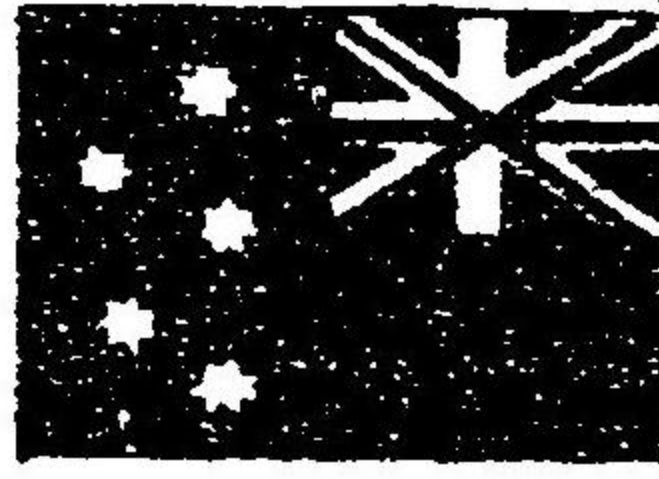

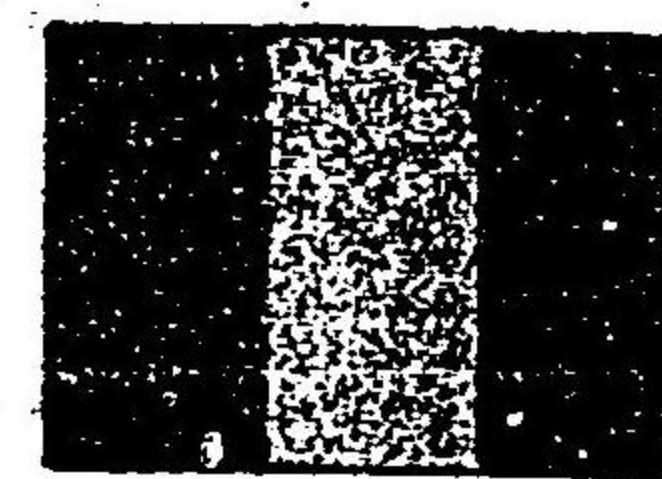
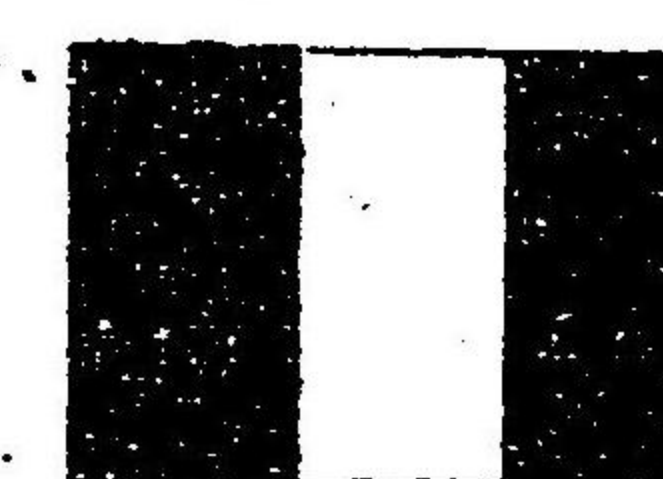
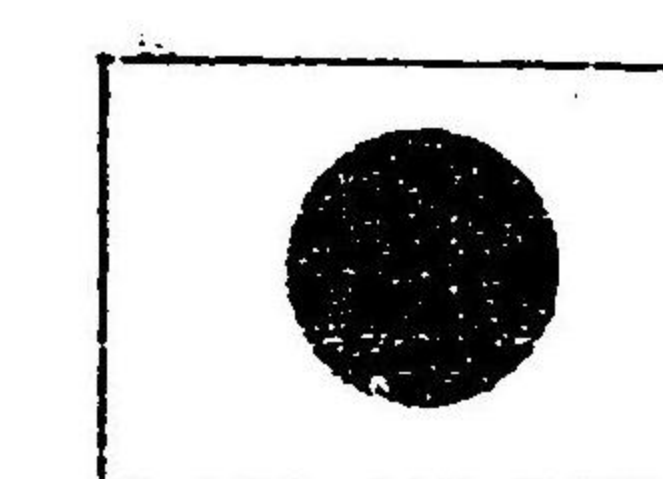



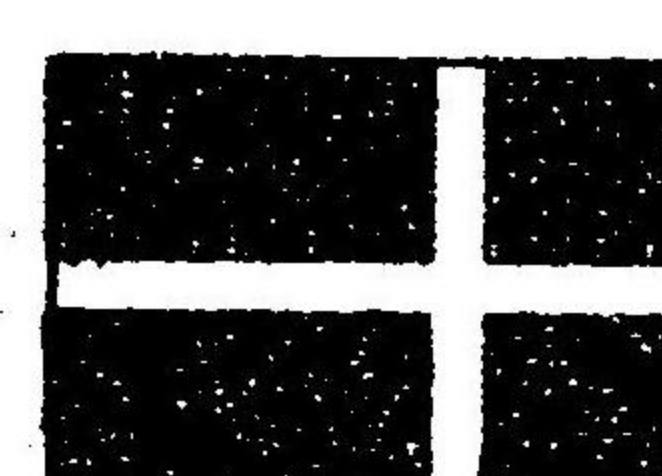
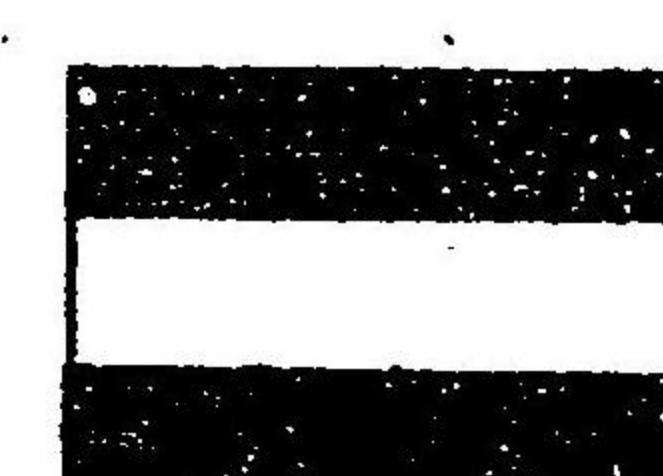



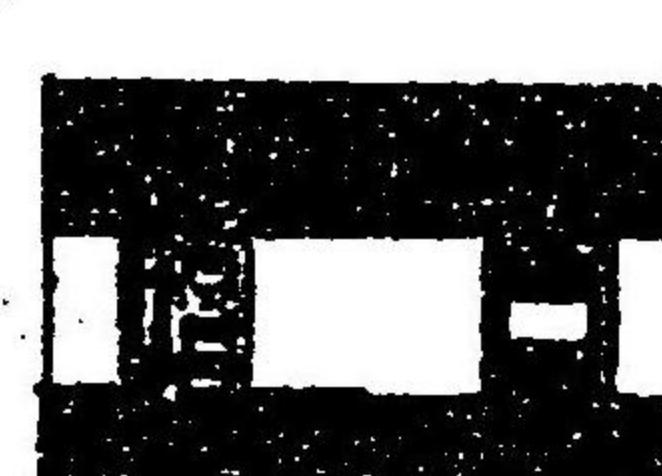
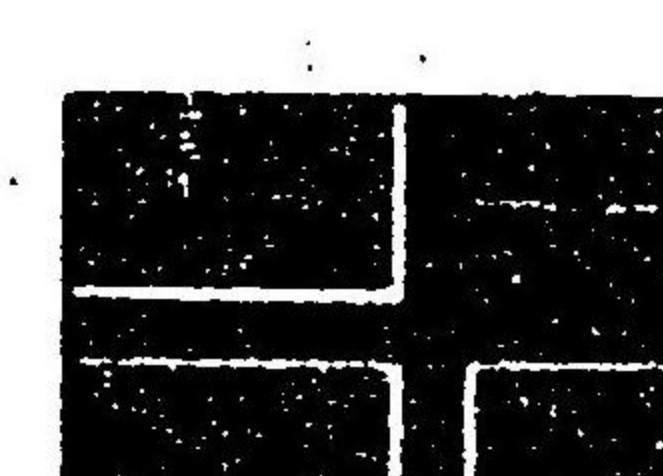




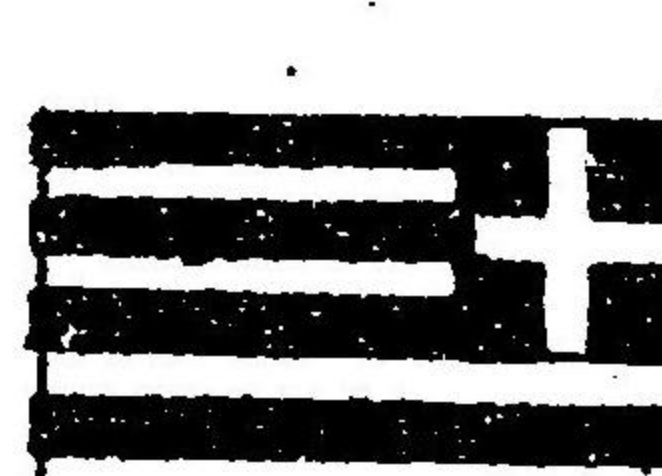






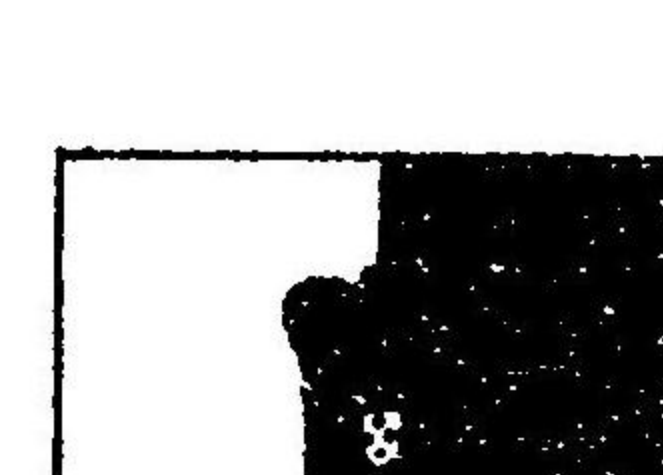


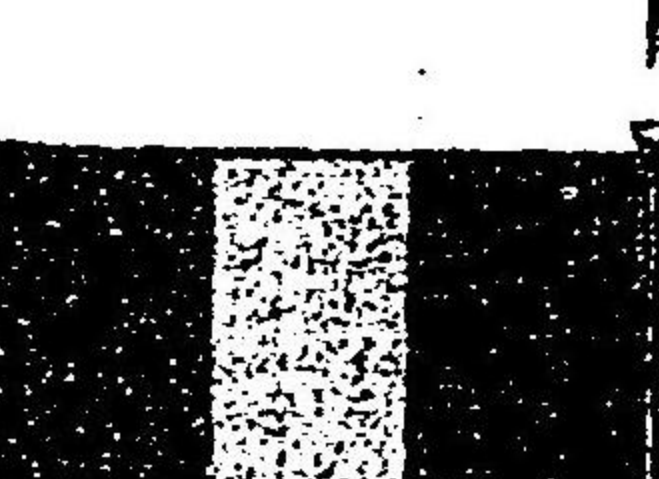



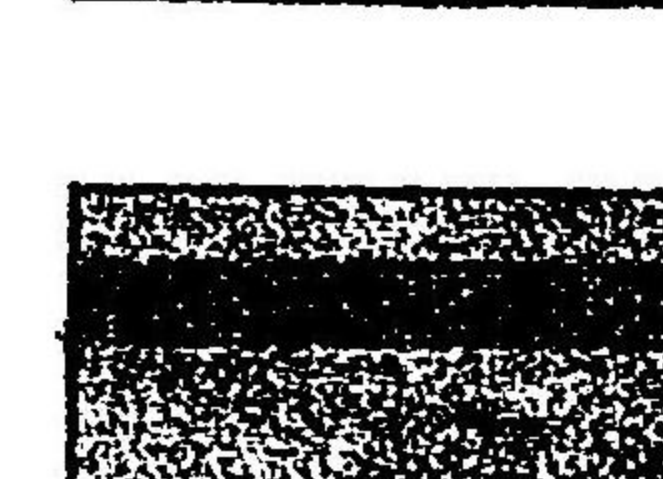
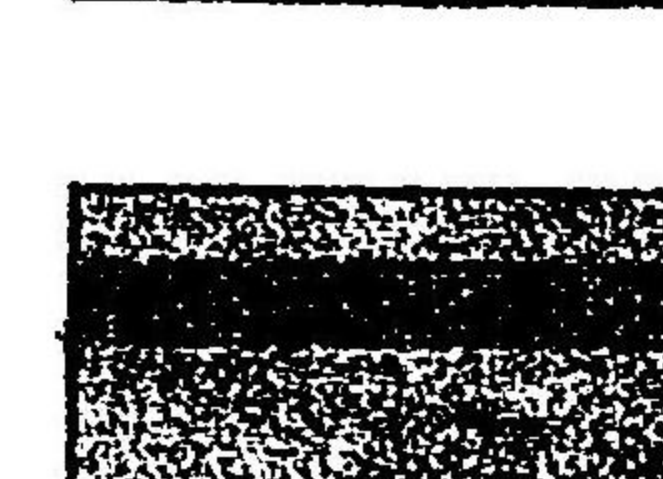


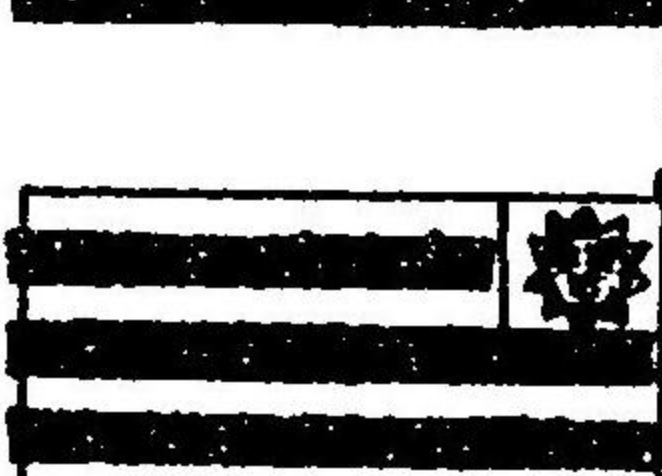
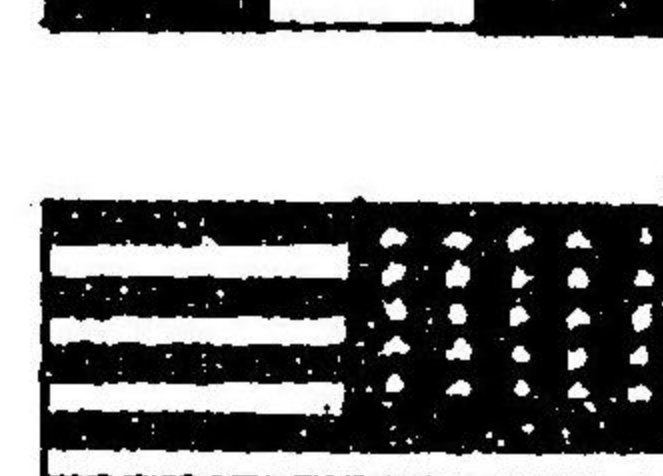


未ニ附載セリ

一 大都府ハ十萬以上ノ人口アルモノヲ掲ケリ但シ首府ノ如キハ十

凡例



各 國 商 船 之 旗

	朝鮮		維多利亞 海峽殖民地		クアテマラ		白耳義		佛蘭西		日本
	支那		ハイチ		コスタリカ ニカラガ		丁株		和蘭		英吉利
	墨西哥		モロコト ボリ		パラグアイ		埃匈國		諸威		英國海峽 總督
	ヴェネツィア		サドミシ		希臘		希臘		獨逸		瑞典
	墨西哥		智利		白露		白露		葡萄牙		露西亞
	羅馬尼		ヴェネツィア		伯刺西爾		伯刺西爾		以大利		西班牙
	暹羅		哥倫比		モントネガ		モントネガ		北米合衆國		土耳其埃及

凡例

萬ノ人口ニ達セサルモ之ヲ掲ケタリ
一統計表中貨幣度量衡ハ原文ノ儘ニテ載セタレハ宜シク下ニ掲ク
ル内外貨幣比較概表及ヒ内外度量衡比較概表ニ就テ對照スベシ

明治廿八年六月

編者誌

目次

亞細亞洲

大日本

支那

朝鮮

波斯

暹羅

歐羅巴洲及諸洲屬地

露西亞

獨逸

佛蘭西

英吉利

伊太利

澳地利匈牙利

土耳其

丁數

一

九一

一〇九

一一四

一二七

一二三

一四七

一六四

一七五

一九五

二〇四

二一六

西班牙

白耳義

羅馬尼

瑞典諸威

和蘭

葡萄牙

瑞西

塞爾比亞

希臘

丁抹

北亞米利加洲

合衆國

墨西哥

南亞米利加洲

丁數

二二五

二二三

二四〇

二四五

二五八

二六五

二七一

二七六

二七九

二八三

二八九

三〇一

目次

一

伯西兒	三〇五 ^丁 數	ゲエネズエラ	三二〇 ^丁 數
アルヂヤンチン	三〇八	大洋洲	
哥倫比亞	三一二	布哇	三二三
秘魯	三二四	内外貨幣比較概表	三二六
智利	三二七	内外度量衡比較概表	三二七

目次終

内外國勢一斑

○日本(帝國)

第一帝室

今上天皇御名ハ睦仁孝明天皇第二ノ皇子ニシテ嘉永五年九月廿二日御降誕慶應四年八月御即位

第二政體

皇太子御名ハ嘉仁今上天皇第三ノ皇子ニシテ明治十二年八月卅一日御降誕

我帝國ノ政體ハ立憲帝政ニシテ其憲法ハ明治二十二年二月十一日發布セラレ其規定スル所ニ依レテ帝國ヲ主權ハ天皇ニ屬シ帝國議會ハ法律ノ制定ヲ協賛シ政府ハ法律執行ノ責ニ任ズ而シテ法律案提出ノ權ハ議會政府共ニ之ヲ有ス

帝國議會ハ貴族院、衆議院ノ兩院ヨリ成立セリ

貴族院ノ議員ハ皇族ノ男子ニ滿二十年ニ達セラレタル者(一)公侯爵ヲ有シ滿二十五年ニ達シタル者(二)伯子男爵ヲ有シ滿二十五年ニ達シ同爵ノ互選ニ當リタル者(任期七ヶ

○帝室○政體

年(四)滿三十年以上ノ男子ニシテ勤勞又ハ學識ノ故ヲ以テ勅選セラレタル者(任期終身)
 (五)滿三十年以上ノ男子ニシテ納稅多額ノ故ヲ以テ各府縣ヨリ選出サレ勅任セラレタル者等五種ノ議員ヲ以テ組織シ現今其數總テ二百九十三人アリ

衆議院ハ各府縣ノ選舉區ニ於テ選舉サレタル議員ヲ以テ組織ス而シテ法律ノ定ムルニ所ニ依レバ選舉人ノ資格ハ(一)日本臣民ノ男子ニシテ年滿二十五年以上ノ者(二)選舉人名簿調製ノ期日ヨリ前滿一年以上其府縣内ニ於テ本籍ヲ定メ住居シ仍引續キ住居スル者(三)選舉人名簿調製ノ期日ヨリ滿一年以上(所得稅ハ滿三年以上)其府縣内ニ於テ直接國稅十五圓以上ヲ納メ仍引續キ納ムル者トシ被選舉人ノ資格ハ日本臣民ノ滿三十歲以上ノ男子ニシテ選舉人名簿調製期日ヨリ前滿一年以上(所得稅ハ滿三年以上)其選舉府縣内ニ於テ直接國稅十五圓以上ヲ納仍引續キ納ムルモノトス以上ノ制限ニシテ日本全國ノ衆議院議員選舉區總テ二百四十七二分ヲ議員三百人ヲ出ス而シテ其任期ヲ四ケ年トス

帝國議會ハ天皇ノ召集ニ依リ毎年三ケ月ノ會期ヲ以テ開會ス而シテ天皇ハ議會ヲ延期シ或ハ之ヲ解散スルノ權ヲ有シ玉ヘリ

帝國議會ノ議長副議長及ヒ議員ハ左ノ如シ

貴族院議長 侯爵 蜂須賀茂韶 副議長 黑田長成

議員

晃親王	彰仁親王	貞愛親王	能久親王
威仁親王	載仁親王	依仁親王	菊麿王
邦憲王	邦彦王	守正王	
公爵 九條道孝	公爵 毛利元德	公爵 島津忠義	公爵 岩倉具定
公爵 德川家達	公爵 鷹司熙通	公爵 二條基弘	公爵 近衛篤麿
公爵 島津忠濟	公爵 一條實輝	侯爵 廣幡忠禮	侯爵 醍醐忠順
侯爵 德大寺實則	侯爵 淺野長勳	侯爵 德川茂承	侯爵 久我通久
侯爵 蜂須賀茂韶	侯爵 鍋島直大	侯爵 尚泰	侯爵 池田章政
侯爵 西園寺公望	侯爵 四條隆謨	侯爵 前田利嗣	侯爵 伊達宗徳
侯爵 德川篤敬	侯爵 菊亭修季	侯爵 中御門經明	侯爵 嵯峨公勝
侯爵 中山孝麿	侯爵 大久保利和	侯爵 德川義禮	侯爵 木戸孝正
侯爵 黒田長成	侯爵 松平康莊	侯爵 佐竹義生	侯爵 細川護成
子爵 長谷信篤	伯爵 松方正義	伯爵 井伊直憲	伯爵 松浦詮
伯爵 冷泉爲紀	伯爵 正親町實正	伯爵 上杉茂憲	伯爵 大原重朝

男爵	菊池武臣	男爵	杉溪言長	男爵	小松行正	男爵	鹿園實博
男爵	島津珍彦	男爵	鶴殿忠善	男爵	吉川重吉	男爵	高木兼寬
	長與專齋		西村亮吉		久保田讓		川田剛
	中島信行		松本順		三宅秀		渡邊千秋
	伊東已代治		田中芳男		橋口兼三		長松幹
	何禮之		安藤則命		渡正元		中村博愛
	村田保		金井之恭		中島永元		重野安釋
	巖谷修		前田獻吉		木梨精一郎		前田正名
	湯地定基		南郷茂光		松本鼎		小原重哉
	寺島秋介		富田鐵之助		千阪高雅		川崎祐名
	藤村紫朗		沖守固		森山茂		森岡昌純
	折田平内		長谷川貞雄		濱尾新		周布公平
	金子堅太郎		丸山作樂		武井守正		馬屋原彰
	清浦奎吾		平田東助		村田經芳		外山正一
	菊池大麓		菊池武夫		平山成信		山脇玄

川田小一郎	堀基	田尻稻次郎	大澤謙二
古市公威	木下廣次	兒玉淳一郎	澤簡德
增田繁幸	小中村清矩	堀真五郎	富井政章
渡邊治右衛門	川崎正藏	野崎武吉郎	下郷傳平
馬場道久	山田卓介	小林小太郎	蟹江史郎
宮崎總五	野村治三郎	長谷川直則	三木與吉郎
梅原修平	根岸武香	澤原爲綱	小室信夫
久保田真吾	小幡篤次郎	吉村角次郎	林宗右衛門
水之江浩	佐藤清右衛門	飯淵七三郎	市島德次郎
吉田三右衛門	神戶政次	鹿毛信盛	金澤松右衛門
田部長右衛門	井芹典太	村上桂策	山田莊左衛門
桑田藤十郎	岡野是保	櫻井伊兵衛	中村雅真
山崎慎三	諫早家崇	岡田可通	角田林兵衛
渡邊甚吉	鈴木傳五郎	菊池三郎	瀧口吉良
五十嵐敬止			

衆議院議長 楠本正隆

副議長 島田三郎

議員

東京府(十四人)

- (一) 末吉忠晴 (二) 山田忠兵衛 (三) 中島又五郎 (四) 楠本正隆
- (五) 伴直之助 (六) 須藤時一郎 (七) 角田眞平 (八) 田口卯吉
- (九) 鳩山和夫 (十) 濱野茂 (十一) 橋本省吾 (十二) 高木正年
- (十三) 石坂昌孝 (十三) 中村克昌
- 京都府(七人)
- (一) 堀田康人 (二) 竹村藤兵衛 (三) 安田益太郎 (四) 喜多川孝經
- (五) 河原林義雄 (五) 石原半右衛門 (六) 稻葉市郎右衛門
- 大阪府(十人)
- (一) 粟谷品三 (二) 豐田文三郎 (三) 前川楨造 (四) 中野治兵衛
- (四) 秋岡義一 (五) 中野廣太郎 (六) 菅野道親 (七) 東尾平太郎
- (八) 櫻井義起 (九) 佐々木政叉
- 神奈川縣(五人)

- (一) 島田三郎 (二) 山田泰造 (三) 德增源太郎 (四) 山田嘉毅
- (五) 水島保太郎

兵庫縣(十二人)

- (一) 鹿島秀麿 (二) 花木甚右衛門 (三) 田艇吉 (四) 石田貫之助
- (五) 河野岩吉 (六) 西村貞太郎 (七) 名倉次 (八) 肥塚龍
- (八) 改野耕三 (九) 岡精逸 (九) 櫻井勉 (十) 濱田儀一郎
- 長崎縣(七人)

- (一) 富永隼太 (二) 蘆塚省三 (三) 志波三九郎
- (四) 草苅武八郎 (五) 宮崎榮治 (六) 島村成達

新潟縣(十三人)

- (一) 小柳卯三郎 (二) 市島謙吉 (三) 田邊久藏 (三) 佐々木松坪
- (四) 大竹貫一 (五) 波多野傳三郎 (五) 小金井權三郎 (六) 内藤久寛
- (七) 久保田右作 (七) 岡村貢 (八) 室孝次郎 (八) 太田孫次右衛門
- (九) 後藤五郎治
- 埼玉縣(八人)

- (一) 高橋安爾 (二) 高田早苗 (三) 福田久松 (三) 野口 樊
- (三) 新井啓二郎 (四) 湯本義憲 (四) 堀越寛介 (五) 原 善三郎
- 群馬縣(五人)
- (一) 新井 毫 (二) 新井啓五郎 (三) 中島祐八 (四) 木暮武大夫
- (五) 眞下珂十郎
- 千葉縣(九人)
- (一) 千葉禎太郎 (二) 四宮有信 (三) 小倉良則 (三) 大須賀庸之助
- (四) 西村甚右衛門 (五) 伊藤徳太郎 (六) 君塚省三 (七) 高橋與市
- (八) 小原金治
- 茨城縣(八人)
- (一) 關戸覺藏 (一) 關 信之助 (二) 大津淳一郎 (二) 野口勝一
- (三) 瀨名信平 (四) 赤松新右衛門 (五) 木村格之助 (六) 倉島松男
- 栃木縣(五人)
- (一) 星 亨 (二) 新井章吾 (三) 田村順之助 (三) 田中正造
- (四) 和田方正

- 奈良縣(四人)
- (一) 中山平八郎 (二) 植田理太郎 (三) 松尾徳三郎 (三) 大北作次郎
- 三重縣(七人)
- (一) 栗原亮一 (二) 鈴木充美 (三) 木村馨太郎 (四) 土居光華
- (五) 尾崎行雄 (六) 森本確也 (六) 深山登峯
- 愛知縣(十一人)
- (一) 吉田 祿在 (二) 小室重弘 (三) 江崎 均 (四) 長谷川龜一郎
- (五) 伊藤春太郎 (六) 鈴木仙太郎 (七) 天野伊左衛門 (八) 早川龍介
- (九) 今井磯二郎 (十) 山本三太郎 (十一) 高橋小十郎
- 靜岡縣(八人)
- (一) 井上彦左衛門 (二) 池谷繁太郎 (三) 廣住久造 (四) 丸尾文六
- (五) 寺田彦太郎 (六) 松島廉作 (七) 江原素六 (八) 田中鳥雄
- 山梨縣(三人)
- (一) 石原彦太郎 (二) 依田道長 (三) 加賀美嘉兵衛
- 滋賀縣(五人)

- (一) 谷澤龍藏 (二) 大原重右衛門 (三) 大東義徹 (三) 西田忠之
- (四) 脇坂行三
- 岐阜縣(七人)
- (一) 大野龜三郎 (二) 細井金四郎 (三) 野口代治 (四) 井深 幹
- (五) 吉田常三郎 (六) 淺見與一右衛門 (七) 井上利右衛門
- 長野縣(八人)
- (一) 小坂善之助 (二) 島津忠貞 (三) 堀田賢郎 (四) 森本省一郎
- (四) 江橋 厚 (五) 石塚重平 (六) 中村彌六 (七) 北原信綱
- 宮城縣(五人)
- (一) 草薙親明 (二) 武者傳次郎 (三) 後藤敏康 (四) 千葉胤昌
- (五) 首藤陸三
- 福島縣(七人)
- (一) 佐藤忠望 (二) 平島松尾 (三) 河野廣中 (三) 吉田正雄
- (四) 柴 四朗 (四) 佐治幸平 (五) 愛澤寧堅
- 岩手縣(五人)

- (一) 谷河尙忠 (二) 阿部 浩 (三) 伊東圭介 (四) 下飯坂權三郎
- (五) 平田 箴
- 青森縣(四人)
- (一) 源 晟 (二) 白鳥慶一 (三) 工藤行幹 (三) 菊池九郎
- 山形縣(六人)
- (一) 佐藤里治 (二) 佐竹正詮 (三) 山下千代雄 (三) 齋藤良輔
- (三) 秋保親兼 (四) 重野謙次郎
- 秋田縣(五人)
- (一) 目黒貞治 (二) 成田直衛 (三) 橋本平左衛門 (四) 坂本理一郎
- (四) 沼田宇源太
- 福井縣(四人)
- (一) 竹尾 茂 (二) 坪田仁平 (三) 久保九兵衛 (四) 小畑岩次郎
- 石川縣(六人)
- (一) 松田吉三郎 (二) 吉本榮吉 (二) 杉村寬正 (三) 眞館貞造
- (三) 津村嘉一郎 (四) 百萬梅治

- 富山縣(五人)
 - (一) 金岡又右衛門
 - (二) 內山正治
 - (三) 漆間民夫
 - (三) 南島間作
 - (四) 島田孝之
- 鳥取縣(三人)
 - (一) 石谷董九郎
 - (二) 田江彌三郎
 - (三) 門脇重雄
- 島根縣(六人)
 - (一) 園山勇
 - (二) 鈴江泰藏
 - (三) 石橋孫八
 - (四) 恒松隆慶
 - (五) 堀昌造
 - (六) 渡邊新太郎
- 岡山縣(七人)
 - (一) 竹內正志
 - (二) 立石岐
 - (三) 大石廉
 - (三) 大養毅
 - (四) 守屋此助
 - (五) 佐藤兵八
 - (六) 井手毛三
 - (七) 直原守次郎
- 廣島縣(十人)
 - (一) 佐々木高榮
 - (二) 富永正男
 - (三) 小鷹狩元凱
 - (三) 金尾稜麿
 - (四) 和田彦次郎
 - (五) 賴俊直
 - (六) 秋山忠夫
 - (七) 和氣清太郎
 - (八) 井上角五郎
 - (九) 永井穎雄

- 山口縣(七人)
 - (一) 吉富簡一
 - (二) 河北勘七
 - (二) 西村禮作
 - (三) 梶山鼎介
 - (四) 坂田昌熾
 - (四) 磯部十藏
 - (五) 小田伴輔
 - (一) 和歌山縣(五人)
 - (一) 岡崎邦輔
 - (二) 太田信一
 - (二) 望月右内
 - (三) 山本隆太郎
 - (三) 小畑儼太郎
 - (三) 德島縣(五人)
 - (一) 湯淺貞太郎
 - (二) 阪東勘五郎
 - (三) 武市彰一
 - (四) 橋本久太郎
 - (五) 阿部興八
 - (一) 香川縣(五人)
 - (一) 中野武管
 - (二) 小西甚之助
 - (三) 鎌田勝太郎
 - (四) 三崎龜之助
 - (五) 森輝見
 - (一) 愛媛縣(七人)
 - (一) 鈴木重遠
 - (二) 宮内治三郎
 - (二) 村上芳太郎
 - (三) 重岡薰五郎
 - (四) 藤田達芳
 - (五) 兵頭隆昌
 - (六) 末廣重恭

- (一) 高知縣(四人)
- (二) 小松三省 (三) 片岡健吉 (三) 林有造 (四) 西山志澄
福岡縣(九人)
- (一) 權藤貫一 (二) 多田作兵衛 (二) 藤金作 (三) 平岡浩太郎
- (四) 佐々木正藏 (五) 中村彦次 (六) 立花親信 (七) 福江角太郎
- (八) 堤猷久
大分縣(六人)
- (一) 毛利莫 (二) 箕浦勝人 (三) 朝倉親爲 (四) 廣瀬貞文
- (五) 元田肇 (六) 江島彖雄
- (一) 佐賀縣(四人)
佐賀時敏 (一) 江藤新作 (二) 松尾得三 (三) 二位景暢
熊本縣(八人)
- (一) 佐々友房 (一) 古莊嘉門 (二) 戶田熊彦 (三) 澁江公寧
- (三) 紫藤寛治 (四) 柴垣伴三 (五) 田村政 (六) 小崎義明
宮崎縣(三人)

(一) 川越進 (二) 肥田木基昌 (三) 小林乾一郎
鹿兒島縣(七人)

(一) 厚地政敏 (二) 折田兼至 (三) 長谷場純孝 (四) 柏田盛文
(五) 河島醇 (六) 蒲生仙 (七) 大島信

政府ハ其中樞ヲ内閣ト稱シ其下ニ外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農商務、逓信ノ各省アリテ各々其政務ヲ分掌ス各省ニハ大臣アリ之ヲ國務大臣ト云フ國務大臣ハ主任ノ政務ニ付キ其責ニ任ス現今政府各部ノ分掌スル所ハ大略左ノ如シ

内閣 内閣ハ國務大臣ヲ以テ組織シ内閣總理大臣ハ各大臣ノ首班トシテ機務ヲ奏宣シ旨ヲ承ケテ政府各部ノ統一ヲ保持ス凡ソ法律及一般ノ行政ニ係ル勅令ハ内閣總理大臣及主任大臣之ニ副署シ勅令ノ各省專任ノ行政事務ニ屬スルモノハ主任ノ各大臣之ニ副署ス又閣議ヲ經ル各件ハ(一)法律案及豫算決算案(二)外國條約及重要ナル國際條件(三)官制又ハ規則及法律施行ニ係ル勅令(四)諸省ノ間主管權限ノ爭議(五)天皇ヨリ下付セラレ又ハ帝國議會ヨリ送致スル人民ノ請願(六)豫算外ノ支出(七)勅任官及地方長官ノ任命及進退其他各省主任ノ事務ニ付キ高等行政ニ關係シ事體稍重キモノハ總テ閣議ヲ經ルモノトセリ

外務省 外務大臣ハ外國ニ對スル政略ノ施行及外國ニ於ル我國貿易ノ保護ニ關スル事務ヲ管理シ交際官及領事ヲ監督ス

內務省 內務大臣ハ地方行政、警察、監獄、土木、衛生、地理、社寺、出版、版權、戶籍、賑恤、救濟ニ關スル事務ヲ管理シ中央衛生會、警視總監及地方官ヲ監督ス

大藏省 大藏大臣ハ歳入、歳出、租稅、國債、貨幣及銀行ニ關スル事務ヲ管理シ地方ノ財務ヲ監督ス

陸軍省 陸軍大臣ハ陸軍軍政ヲ管理シ軍人、軍屬ヲ統督シ及所轄諸部ヲ監督ス

海軍省 海軍大臣ハ海軍軍政ヲ管理シ軍人、軍屬ヲ統督シ及所轄諸部ヲ監督ス

司法省 司法大臣ハ司法ニ關スル行政、司法警察及恩赦ニ關スル事務ヲ管理シ大審院以下ノ諸裁判所ヲ監督ス

文部省 文部大臣ハ教育學問ニ關スル事務ヲ管理ス

農商務省 農商務省大臣ハ農業、商業、工藝、技術、漁獵、山林、地質、鑛山及營業會社ニ關スル事務ヲ管理ス

遞信省 遞信大臣ハ驛遞、電信、燈臺、浮標、船舶及海員ニ關スル事務ヲ管理ス

右ノ外樞密院ハ天皇親臨シテ重要ノ國務ヲ諮詢スル所ニシテ其職掌ハ憲法及憲法ニ附屬

スル法律ノ解釋ニ關シ及豫算其他會計上ノ疑義ニ關スル爭議、憲兵ノ改正、又ハ憲兵ニ附屬スル法律ノ改正ニ關スル草按、重要ナル勅令、新法ノ草按、又ハ現行法律ノ廢正改正ニ關スル草按、列國交渉ノ條約及行政組織ノ計畫、前諸項ノ外、行政又ハ會計上重要ノ事項ニ付キ特ニ勅命ヲ以テ諮詢セラレタルトキ又ハ法律命令ニ依テ特ニ樞密院ノ諮詢ヲ經ルヲ要スルトキニ於テ會議ヲ開キ意見ヲ上奏スル所トス

政府職員ハ左ノ如シ

內閣總理大臣	伯爵 伊藤博文	外務大臣	子爵 陸奧宗光
內務大臣	子爵 野村靖	大藏大臣	伯爵 松方正義
陸軍大臣	伯爵 山縣有朋	海軍大臣	伯爵 西鄉從道
司法大臣	子爵 芳川顯正	文部大臣	侯爵 西園寺公望
農商務大臣	子爵 榎本武揚	遞信大臣	渡邊國武
樞密院議長	伯爵 黑田清隆	副議長	伯爵 東久世通禧

第三 周圍及面積

周圍及面積

土地屬島數	本島	周圍島	合計
本州	一六六・五	一、九五二・八八	五三二・五八
四國	七四・五	四五一・一七	二二四・六四
九州	一五〇・〇	八六一・一八	九八五・六八
北海道本地	一一・〇	五八三・五三	四五・一八
千島	—	六一三・二一	—
佐渡	—	五三・三〇	—
隱岐	一・〇	七四・七〇	一・二七
淡路	一・〇	三八・七〇	二・一八
壹岐	一・〇	三五・四四	一・八一
對馬	五・〇	一八六・二七	一九・九五
琉球五島	—	三一五・〇六	—
小笠原島十七島	—	六〇・五八	—
總計	四一一・〇	五、二二五・八二	一、八〇三・二九
			七、〇二九・一一

周圍及面積

土地屬島數	本島	周圍島	合計	百分比
本州	一四、四九二・二一	七八・九一	一四、五七一・一二	五八・七七
四國	一、一五一・二四	二九・四三	一、一八〇・六七	四・七六
九州	二、三一・八六	三〇五・六八	二、六一七・五四	一〇・五六
北海道本地	五、〇五六・七八	五・一二	五、〇六一・九〇	二〇・四二
千島	一、〇三三・四六	—	一、〇三三・四六	四・一七
佐渡	五六・三三	—	五六・三三	〇・二三
隱岐	二一・八八	〇・〇一	二一・八九	〇・〇九
淡路	三六・五五	〇・一四	三六・六九	〇・一五
壹岐	八・五五	〇・〇八	八・六三	〇・〇三
對馬	四三・九五	〇・七七	四四・七二	〇・一八
琉球五島	一五六・九一	—	一五六・九一	〇・六三
小笠原島十七島	四・五〇	—	四・五〇	〇・〇一
總計	計二四、三七四・二二	四二〇・一四	二四、七九四・三六	一〇〇・〇〇

島嶼ハ周圍凡ソ一里以上ノ者ヲ載ス一里以下ト雖凡人民住居シ或ハ望標等ノ用ヲ爲ス者ハ之ヲ算入ス○屬島ノ數ニ端數アルハ一島ニシテ兩地ニ屬スル者アルニ由ル即チ本州ト四國ト間ニアル石島是ナリ

第四 人口本州及諸島嶼別(明治二十五年十二月卅一日調)

本州及諸島嶼	明治二十五年十二月卅一日調		合 計
	男	女	
本州	一五、七四六、八一六	一五、四三三、六六三	三一、一八〇、四七九
四國	一、四八〇、三二七	一、四二三、〇〇五	二、九〇三、三三二
九州	二、九三七、五五九	二、九〇三、三五二	五、八四〇、九一一
北海道	一七五、一一一	一六五、二六三	三四〇、三七四
佐渡	五五、五〇七	五六、六一〇	一一二、一一七
隱岐	一七、四八九	一七、三〇三	三四、七九二
淡路	九七、三七二	九三、三四〇	一九〇、七一二
壹岐	一八、一九〇	一七、五〇九	三五、六九九
對馬	一六、三六三	一五、七七二	三二、一三五

本州及諸島嶼	明治二十五年十二月卅一日調		合 計
	男	女	
琉球	二〇六、九五四	二二一、二〇六	四一八、一六〇
小笠原島	六七八	五五一	一二二九
總計	二〇、七五二、三六六	二〇、三三七、五七四	四一、〇八九、九四〇
本州	一五、六〇八、七八三	一五、三〇〇、一一〇	三一、九〇八、九〇三
四國	一、四七二、六八五	一、四二四、七一一	二、八八七、三九七
九州	二、九一二、五一七	二、八七九、九四二	五、七九二、四五九
北海道	一六一、一二三	一五二、九八五	三一四、一一八
佐渡	五五、二八八	五六、四五六	一一一、七四四
隱岐	一七、二九六	一七、〇一五	三四、三一
淡路	九七、〇九一	九三、一二六	一九〇、二一七
壹岐	一八、二三四	一七、四八三	三五、七一七
對馬	一六、二九六	一五、五一〇	三一、八〇六
琉球	二〇三、四八九	二〇七、三九二	四一〇、八八一

小笠原島	六二四	五一〇	一、一三四
總計	二〇、五六三、四一六	二〇、一五五、二六一	四〇、七一八、六七七
第五 人口一萬以上ノ市町村(明治廿五年十二月卅一日調)			
地 名	戸 數	現 住 人 口	一 戸 = 付 人 口
武藏東京市	二七八、三七八	一、一八〇、五六九	四、二四
攝津大阪市	九三、五五四	四七九、五四六	五、一三
山城京都市	六五、九七一	三〇八、二六六	四、六七
尾張名古屋市	四五、八六三	一八五、七七六	四、〇五
攝津神戸市	三五、五九一	一四八、六二五	四、一八
武藏横濱市	二九、二六九	一四三、七五四	四、九一
加賀金澤市	一七、八七一	九二、二三九	五、一六
安藝廣島市	二五、〇九七	九〇、九〇一	三、六二
陸前仙臺市	一二、五七一	七〇、五五八	五、六一
肥前長崎市	九、三六八	六三、〇三八	六、七三
阿波徳島市	一二、四四六	六二、二一八	五、〇〇

渡島函館區	一三、二九四	六〇、三八三	四、五四
肥後熊本市	一二、六四四	五九、〇八九	四、六七
越中富山市	一三、八〇五	五八、七六一	四、二六
筑前福岡市	九、二九〇	五六、〇〇三	六、〇三
紀伊和歌山市	一三、二六三	五五、九五五	四、二二
薩摩鹿兒島市	一二、五七六	五五、八一二	四、四四
備前岡山市	九、五二八	五〇、一一四	五、二六
越後新潟市	一〇、〇三四	四九、八八四	四、九七
和泉堺市	八、九一一	四六、五六六	五、二三
越前福井市	八、九九九	四一、六九九	四、六三
駿河静岡市	七、五八五	三六、三四三	四、七九
讚岐高松市	七、七〇六	三五、五九四	四、六二
出雲松江市	七、六七八	三五、五二六	四、六三
伊豫松山市	七、四九六	三四、七六二	四、六四
土佐高知市	九、八七四	三四、五三三	三、五〇

人口一萬以上ノ市町村

長門赤間關市	六、三六九	三三、五九二	五、二七
甲斐甲府市	六、六六七	三三、四〇八	五、〇一
下野宇都宮町	六、五六〇	三三、三三四	五、〇八
上野前橋市	五、六五三	三二、九五七	五、八三
美濃岐阜市	六、三六一	三二、四〇六	六、〇九
陸中盛岡市	七、一三九	三二、〇四四	四、四九
後志小樽	六、二七九	三一、四七二	五、〇一
琉球那覇	八、〇二〇	三一、三三六	三、九一
近江大津町	五、四〇〇	三一、二七九	五、七九
陸奥弘前市	六、三七七	三〇、八九七	四、八五
越中高岡市	七、二二三	三〇、一一八	四、一七
肥前佐賀市	五、〇三八	二九、二六二	五、八一
羽前米澤市	五、一八五	二九、〇八六	五、六一
信濃長野町	五、四八四	二八、七五一	五、二四
伊勢津市	五、六〇七	二八、七二〇	五、一二

羽前山形市	四、七一五	二八、五四五	六、〇五
羽後秋田市	六、七七五	二八、四六八	四、二〇
伊勢宇治山田町	五、八一六	二八、三八〇	四、八八
因幡鳥取市	六、六三五	二八、二二三	四、二五
常陸水戸市	五、〇〇七	二八、〇九九	五、六一
信濃松本町	六、〇二一	二七、四〇六	四、五五
播磨姫路市	七、九四四	二七、一七七	三、四二
上野高崎町	四、七三三	二六、三四八	五、五七
右狩札幌區	五、〇三九	二六、〇二二	五、一六
筑後久留米市	四、四六〇	二五、八二一	五、七九
攝津難波村	六、一一七	二五、七四四	四、二一
大和奈良町	四、八三九	二五、六二二	五、二九
琉球首里	五、一九九	二五、五九二	四、九二
岩代若松町	四、四七二	二四、八一	五、五五
薩摩谷山村	四、四七七	二四、七二六	五、五二

人口一萬以上ノ市町村

人口一萬以上ノ市町村

下總千葉町	三、七四八	二四、七〇五	六、五九
武藏八王子町	四、六一六	二三、三四一	五、〇六
陸奥青森町	三、七三三	二三、七〇四	六、〇八
羽後酒田町	三、六八七	二一、三七二	五、八〇
越後高田町	三、九六六	二〇、四八九	五、一七
播磨明石町	四、三六二	二〇、四八五	四、七〇
相模横須賀町	三、四八二	二〇、四四三	五、八七
薩摩額娃村	四、〇〇九	二〇、三三六	五、〇七
武藏川越町	三、二一〇	二〇、二七〇	六、三一
近江彦根町	三、五六二	二〇、一〇九	五、六五
讚岐丸龜町	四、七六六	一九、九三四	四、一八
羽前鶴岡町	三、〇八二	一九、八八二	六、四五
薩摩東南方村	四、〇五六	一九、七〇四	四、八六
信濃上田町	三、九〇五	一九、五四三	五、〇〇
備後尾道町	四、三一九	一九、四一〇	四、四九

人口一萬以上ノ市町村

尾張熱田町	四、二二二	一九、四〇六	四、六一
美濃大垣町	四、一一九	一九、三三三	四、六九
長門萩町	四、〇七三	一九、二二九	四、七二
伊勢四日市町	三、五七三	一九、一〇八	五、三五
下野栃木町	三、五六一	一九、〇三三	五、三四
伊勢桑名町	三、六〇五	一八、九九六	五、二七
上野桐生町	二、七六〇	一八、五四七	六、七二
薩摩串木野村	三、四三二	一八、四六八	五、三八
岩代福島町	三、一五〇	一八、四三六	五、八五
阿波撫養町	三、三三七	一八、二九八	五、四八
豊前小倉町	二、七八六	一七、八一二	六、三九
陸前石巻町	三、〇三七	一七、四四五	五、七四
山城伏見町	三、三二一	一七、四二七	五、二五
越中新港町	四、三七三	一七、三四七	三、九七
三河岡崎町	四、〇五四	一六、七六四	四、一四

人口一萬以上ノ市町村

下總	千葉町	三、七四八	二四、七〇五	六、五九
武藏	八王子町	四、六一六	二三、三四一	五、〇六
陸奥	青森町	三、七三三	二二、七〇四	六、〇八
羽後	酒田町	三、六八七	二一、三七二	五、八〇
越後	高田町	三、九六六	二〇、四八九	五、一七
播磨	明石町	四、三六二	二〇、四八五	四、七〇
相模	横須賀町	三、四八二	二〇、四四三	五、八七
薩摩	穎娃村	四、〇〇九	二〇、三三六	五、〇七
武藏	川越町	三、二一〇	二〇、二七〇	六、三一
近江	彦根町	三、五六二	二〇、一〇九	五、六五
讃岐	丸龜町	四、七六六	一九、九三四	四、一八
羽前	鶴岡町	三、〇八二	一九、八八二	六、四五
薩摩	東南方村	四、〇五六	一九、七〇四	四、八六
信濃	上田町	三、九〇五	一九、五四三	五、〇〇
備後	尾道町	四、三一九	一九、四一〇	四、四九

人口一萬以上ノ市町村

尾張	熱田町	四、二二二	一九、四〇六	四、六一
美濃	大垣町	四、一一九	一九、三三三	四、六九
長門	萩町	四、〇七三	一九、二二九	四、七二
伊勢	四日市町	三、五七三	一九、一〇八	五、三五
下野	栃木町	三、五六一	一九、〇三三	五、三四
伊勢	桑名町	三、六〇五	一八、九九六	五、二七
上野	桐生町	二、七六〇	一八、五四七	六、七二
薩摩	串木野村	三、四三二	一八、四六八	五、三八
岩代	福島町	三、一五〇	一八、四三六	五、八五
阿波	撫養町	三、三三七	一八、二九八	五、四八
豊前	小倉町	二、七八六	一七、八一二	六、三九
陸前	石巻町	三、〇三七	一七、四四五	五、七四
山城	伏見町	三、三二一	一七、四二七	五、二五
越中	新港町	四、三七三	一七、三四七	三、九七
三河	岡崎町	四、〇五四	一六、七六四	四、一四

人口一萬以上ノ市町村

武藏神奈川町	二、九二五	一六、二九六	五、五七
攝津天王寺村	三、四二〇	一六、二七三	四、七六
越前敦賀町	二、九九七	一五、四五二	五、一六
備後福山町	四、一〇八	一五、四四一	三、七六
下總本銚子町	二、七三五	一五、三六六	五、六二
下野足利町	三、一六六	一五、二二九	四、八一
薩摩阿久根村	二、九五八	一五、一三四	五、一二
薩摩知覽村	三、一二七	一五、〇八四	四、八二
飛騨高山町	三、七三五	一五、〇七〇	四、〇三
薩摩指宿村	二、八七六	一五、〇三六	五、二三
遠江濱松町	二、八五二	一四、九四七	五、二四
三河豊橋町	三、二七四	一四、九一三	四、五五
薩摩伊作村	二、六九七	一四、八六八	五、五一
波島江差	三、三八〇	一四、八五四	四、三九
武藏千住町	三、一九一	一四、七八三	四、六三

越前武生町	三、五七一	一四、六八七	四、一一
武藏品川町	三、六四三	一四、五七五	四、〇〇
薩摩伊敷村	三、二八八	一四、五五〇	四、四三
相模小田原町	三、一三五	一四、四七八	四、六二
周防山口町	二、五九四	一四、四一八	五、五六
伊豫今治町	二、九二九	一四、一五七	四、八三
佐渡相川町	二、五五一	一四、〇八〇	五、五二
安藝仁保島村	二、六五一	一四、〇六四	五、三一
薩摩川邊村	二、六四一	一四、〇六〇	五、三二
伯耆米子町	二、六一三	一四、〇五四	五、三八
伊賀上野町	二、八七八	一四、〇三〇	四、八七
薩摩西加世田村	二、三九四	一三、七七二	五、七五
薩摩加世田村	二、四四九	一三、七四〇	五、六一
攝津尼ヶ崎町	二、五一八	一三、六六六	五、四三
大隅垂水村	二、四七一	一三、六四一	五、五二

人口一萬以上ノ市町村

人口一萬以上ノ市町村

武藏月太村	二、九六一	一三、五〇九	四、五六
越中魚津町	三、三〇七	一三、四七七	四、〇八
安藝廣村	二、四九二	一三、三八一	五、三七
豊前中津町	二、四五四	一三、三四二	五、四四
肥後水俣村	二、四〇二	一三、三三五	五、五五
攝津東平野町	二、五九五	一三、二六五	五、一一
安藝倉橋島村	二、一六〇	一三、〇八六	六、〇六
信濃飯田町	二、八九七	一三、〇七二	四、五一
加賀小松町	二、七七五	一三、〇六四	四、七一
筑後大牟田町	二、四三二	一三、〇二七	五、三八
美作津山町	二、四四八	一二、九六三	五、三〇
伊勢松阪町	三、〇九一	一二、九五九	四、一九
越後新發田町	二、七六五	一二、七六六	四、六二
相模浦賀町	二、〇八二	一二、七一九	六、一一
大和郡山町	二、一九二	一二、七二一	五、八〇

讃岐觀音寺町	二、三三三	一二、七〇八	五、四五
阿波小松島村	二、六二八	一二、四四九	四、七四
根室根室	三、一二三	一二、三五九	三、九六
日向都城町	二、二七〇	一二、三三三	五、四二
攝津曾根崎村	二、五五八	一二、二八四	四、八〇
攝津西宮町	二、四九五	一二、二四三	四、九一
下總船橋町	二、〇六〇	一二、二三二	五、九四
伊豫宇和島町	二、七三六	一二、一八七	四、四五
周防徳山村	二、四七三	一二、一八五	四、九三
常陸湊町	二、二〇九	一一、一七四	五、五一
越中氷見町	二、六〇七	一一、〇四五	四、六二
肥前佐世保村	二、二八一	一一、九七四	五、二五
羽後能代港町	二、五〇五	一一、九五九	四、七七
羽後土崎港町	二、〇七一	一一、九五九	五、七七
磐城白河町	二、〇一六	一一、九四一	五、九二

人口一萬以上ノ市町村

人口一萬以上ノ市町村

尾張津島町	三、〇六一	一一、九一〇	三・八九
尾張一宮町	二、四六四	一一、七七〇	四・七八
薩摩東市來村	二、四四九	一一、七二八	四・七九
薩摩東加世田村	一、八五〇	一一、六三〇	六・二九
大隅加治木村	二、三四七	一一、六一四	四・九五
羽後横手町	一、九九八	一一、四八五	五・七五
渡島福山	二、四〇三	一一、四五五	四・七七
下野足尾町	一、〇〇〇	一一、四五〇	一一・四五
下總佐原町	二、〇五三	一一、四三七	五・五七
大隅北種子村	二、一五三	一一、四三六	五・五八
日向小林村	二、二二二	一一、四二五	五・一七
武藏熊谷町	二、一四八	一一、四〇一	五・三一
常陸石岡町	二、一二四	一一、二八七	五・三一
紀伊新宮町	二、五三八	一一、二六二	四・四四
羽前新庄町	一、六四三	一一、二〇六	六・八二

人口一萬以上ノ市町村

陸奥八戸町	二、〇五八	一一、一八六	五・四四
安藝江田島村	二、〇〇二	一一、一四七	五・五七
豊後大分町	二、〇六〇	一一、一一七	五・四〇
攝津上福島村	二、一〇九	一一、〇七六	五・二五
讃岐坂出町	一、九三二	一一、〇八六	五・六九
大隅末吉村	二、二九一	一一、〇七八	四・七九
駿河沼津町	一、九九六	一一、〇九五	五・四九
薩摩吉野村	一、七七二	一一、〇七二	六・〇八
下野田沼町	一、六〇四	一一、〇七四	六・七〇
能登七尾町	二、二九六	一一、〇七三	四・六七
周防家室西方村	二、〇七三	一一、〇八九	五・一六
安藝瀬戸島村	一、八三六	一一、〇七九	五・八二
肥前西有家村	一、八九〇	一一、〇七八	五・六五
薩摩西南方村	一、九八七	一一、〇三七	五・三五
周防三田尻村	二、〇七七	一一、〇六五	五・一一

人口一萬以上ノ市町村

常陸土浦町	一、九一九	一〇、六〇五	五、五三
筑後大川町	一、八一八	一〇、五四一	五、八〇
常陸結城町	一、七一二	一〇、五三〇	六、一五
武藏南千佳町	二、三五〇	一〇、五二四	四、四八
越中滑川町	一、九四九	一〇、五二四	五、四〇
駿河長田村	一、八二九	一〇、四六〇	五、七二
大和十津川村	一、九一六	一〇、四三八	五、四五
安藝和庄町	二、四一九	一〇、三八五	四、二九
越前三國町	二、二六三	一〇、三一三	四、五六
越後直江津町	二、二四〇	一〇、二五四	四、五八
武藏大森村	二、〇一六	一〇、一七九	五、〇五
常陸磯濱町	二、一七〇	一〇、一六五	四、六八
下總古河町	一、九三〇	一〇、一五七	五、二六
紀伊湯淺村	一、八七〇	一〇、一一七	五、四一
肥後八代町	一、九三六	一〇、〇九四	五、二一

下野鹿沼町	一、六八五	一〇、〇七九	五、九八
豊後臼杵町	二、一〇七	一〇、〇七九	四、七八
能登輪島町	一、九八〇	一〇、〇七八	五、〇九
薩摩喜入村	一、八九三	一〇、〇〇一	五、二八
總計	百九十五	一、三三一、七七二	六、三四五、九三〇
本表下野足尾町ノ平均一月ノ人口多キハ銅山ノ鑛夫等多キニ由ルナラン			

第六歳入歳出 (*ハ歳出超過)

年	度	前年度ヨリ繰入金及繰越金	第一歳	第二歳	種合	入計
明治二十七年度	豫算	三、八〇九、六四三	八一、〇八七、二六三	三、一四八、三二八	八四、二三五、五九九	
同	二十六年	現計	二四、七二七、一七一	八五、五二九、〇二九	三、三八六、九二九	八八、九一五、九五八
同	二十五年	〃	一九、六七五、五九七	八〇、四二三、三九一	一、三六二、九二三	八一、七八六、三一四
同	二十四年	決算	二四、三四三、九五二	七六、二四一、〇七八	二、六四六、四六〇	七八、八八七、五三八
同	二十三年	〃	二〇、五九八、七二一	七八、三三五、一六五	七、五四五、四六八	八五、八七〇、六三三
同	二十二年	〃	四、三四八、九七五	八四、六二一、六八八	七、七二七、三二六	九二、三三九、〇〇四

歳入歳出

歳入歳出

同二十一年度	六〇七三、二四二	七六、一一一、七九六	一〇、七七二、八九五	八六、八八三、六九一
同二十年度	二、一〇二、一八四	七五、五五〇、二九五	一〇、五〇八、五九五	八六、〇五八、八九〇
同十九年度	一、〇四二、五三二	七二、一八二、〇三一	一一、一〇二、五九一	八四、二八四、六二二
同十八年度	—	五六、七二四、五九一	五、四四二、二四四	六一、一五六、八三五
年	度	第一種	第二種	合計
明治二十七年	豫算	七二、一九七、〇一〇	七、九四三、四九〇	八〇、一四〇、五〇〇
同二十六年	現計	七七、二七七、二二二	七、二八二、四八八	八四、五五九、七〇〇
同二十五年	決算	六八、二二六、三二七	八、五〇八、四一三	七六、七三四、七四〇
同二十四年	決算	六七、二二二、四九七	一六、三三三、三九四	八三、五五五、八九一
同二十三年	—	七三、二二一、〇六三	九、〇〇四、三四〇	八二、一二五、四〇三
同二十二年	—	七二、四七六、五六四	七、二三七、一〇七	七九、七一一、六七一
同二十一年	—	七一、八六四、五二八	九、六三九、四九六	八一、五〇四、〇二四
同二十年	—	七二、六四四、九三二	六、八〇八、一〇四	七九、四五三、〇三六
同十九年	—	七七、五九四、〇〇一	五、六二九、九五九	八三、二二三、九六〇
同十九年	—	—	—	一、〇六〇、六六二

同十八年度 五四、九八九、六二八 六一、二五六、八八五 六一、二五五、三三三 一、〇四一、五三二

本表歳入内譯ノ第一種ハ租税、免許及手数料、官業及官有財産收入、雑收入、官有物拂下代等毎年收入アルモノ第二種ハ獻納金、公債募集金、各種部ヨリ繰入金等年度ニ依テ收入アルモノヲ集計セシモノナリ又歳出内譯ノ第一種ハ皇室費、國債費、各廳經費、年金恩給諸祿等第二種ハ各別途部ヨリ繰入ヲ以テ仕拂タル諸費、公債募集費、臨時軍備費、横濱築港費、水害及震災費等ノ類ニシテ臨時歳出ニ屬スルモノナリ○明治二十六年度ノ現計額ハ二十七年七月三十一日ノ調査額ニシテ二十五年度ノ現計ハ會計整理期迄ノ額ナリ次表モ之ニ同シ

第七國債

種別	利子	未償	還高
舊公債	無利子	明治二十六年度	明治二十五年
新公債	四	六、一四四、七二六	六、三六四、一八一
金祿公債	五	八、五三〇、三七五	一〇、五二五、九二五
海軍公債	五	三〇、七三〇、〇二〇	三〇、七四〇、〇二〇
	分	一六、九七〇、〇〇〇	一六、九八〇、〇〇〇

國債

神社及宗教

整理公債	同	一六六、四八二、四五〇
鐵道費補充公債	同	一五四、四八三、〇〇〇
鐵道公債	同	二、〇〇〇、〇〇〇
征討費借入	七分五厘	一〇、〇〇〇、〇〇〇
紙幣消却借入	無利子	一〇、〇〇〇、〇〇〇
外國新公債	七分	二、九五七、二八〇
合計		二六七、八一四、八五一
流通紙幣		二八三、五一九、六二四
總計		二八六、三二六、三一六

第八 神社及宗教

各宗ノ教派

神道	道大	社	教實	行	教修	成	派神	習	教
天台	宗	臨濟宗	建仁寺派	曹	洞	宗	真宗出雲寺派	日蓮宗	本成寺派
同	寺門派	同	南禪寺派	黃	壁	宗	同	山元派	同
									本隆寺派

佛道	同	眞	盛	派	同	妙心寺派	眞宗本願寺派	同	誠照寺派	同	不受不施派
眞	言	宗	同	建長寺派	同	大谷派	同	三門徒派	同	不受不施講門派	
淨	土	宗	同	東福寺派	同	高田派	日	蓮	宗	時	
同	西山派	同	大德寺派	同	木邊派	同	妙滿寺派	融	通	念	
臨濟宗	天龍寺派	同	圓覺寺派	同	興正派	同	興門派	法	相	宗	
同	相國寺派	同	永源寺派	同	佛光寺派	同	八品派	華	嚴	宗	

○神社及神官(十二月三十一日)

次 明治廿五年 同 廿三年 同 廿一年 明治廿五年 同 廿三年 同 廿一年

神宮	一	一	一	六一	六一
官幣	大社	三	三	一三六	一三三
官幣	中社	二	二	七三	六七
官幣	小社	八	八	二六	一六
別格官幣社	中社	二	二	六〇	五八
國幣	中社	五	五	一五七	一五〇

神職及神官等

神社及神官

學校及教員學生生徒總數

種別	尋常中學校			高等中學校	帝國大學	陸海軍大學校	尋常師範學校	高等師範學校	專門學校			高等女學校		
	私立	公立	官立						私立	公立	官立	公立	官立	
計	三	四八	一三	七	一	二	四七	二	二九	二七	三三	八九	一	七
學生	一〇七	六〇二	一八九	二八三	一七八	三五	五六八	四四	七九五	二三九	五三〇	一、五六四	一一	四一
生徒	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九
合計	二二六	六〇二	一八九	二八三	一七八	三五	五六八	四七	七九五	二四一	五三二	一、五六八	一九	七九

學校及教員學生生徒總數

種別	各種學校			明治二十四年	明治二十三年	明治二十二年	總計		
	私立	公立	官立				私立	公立	官立
計	一九	二七	一	二五、四〇四	二七、八九八	二八、〇五二	二、一四〇	二、三三六	四、八
學生	九一	一四三	一一	六三、四一〇	七二、九二五	六九、六六八	四、九三五	五、九九九	一、四七六
生徒	一三四	一八〇	—	三、三三五	五、〇四四	四、一四二	九〇三	四〇	—
合計	二二五	三二三	一一	六〇、三三四	七五、九六九	七三、八一〇	五、八三八	六〇、三三四	一、五二六

陸軍豫備後備員

年	總計				
	工兵	輜重兵	警備隊	軍樂隊	憲兵隊
明治二十五年	7	7	1	1	1
明治二十四年	7	7	1	1	1
明治二十三年	7	7	1	1	1
合計	21	21	3	3	3

第六師團ニ在ル分遣隊ナルモノハ本隊ヨリ時々分遣交代スルモノナリ○明治二十二年以前ハ小隊ノ設置アリシモ二十三年以後廢止セルニ依リ本表ノ累年隊數ニハ之ヲ一隊中ニ併記ス○各司司令部ハ平常軍隊ヲ組織スルモノニ非ザルヲ以テ本表ニハ之ヲ除ク但シ警備隊ニ在テハ之ヲ包含ス

○陸軍豫備後備員

師	管	將官及上長 相當官官	士官	下士	計	上長 官	士官	下士	計	合計
第一	第一	一	二	三	六	一	二	三	六	一
第二	第二	二	三	四	七	二	三	四	七	二
第三	第三	三	四	五	八	三	四	五	八	三
第四	第四	四	五	六	九	四	五	六	九	四
第五	第五	五	六	七	一〇	五	六	七	一〇	五
第六	第六	六	七	八	一〇	六	七	八	一〇	六
總計	總計	三三	四四	五五	六六	三三	四四	五五	六六	三三
明治二十五年	同	三三	四四	五五	六六	三三	四四	五五	六六	三三
明治二十四年	同	三三	四四	五五	六六	三三	四四	五五	六六	三三
明治二十三年	同	三三	四四	五五	六六	三三	四四	五五	六六	三三
豫備	豫備	九	八	七	六	五	四	三	二	一
後備	後備	九	八	七	六	五	四	三	二	一
其他	其他	九	八	七	六	五	四	三	二	一
合計	合計	九	八	七	六	五	四	三	二	一

陸軍豫備後備員

第 三	七、七三二	三七	五五一	一八〇	七五	七、三三六	一五、八九一	二九、九六一
第 四	八、二七八	一八	七五九	三六五	一〇九	六、五六七	一六、〇九六	三〇、七八〇
第 五	六、五九四	二二	五〇六	一四六	八九	八、九三四	一六、二九〇	三〇、〇〇七
第 六	六、七三七	一四	七四九	三八八	八五	七、八一五	一五、七八八	三一、一〇八
總 計	四、四九七	三三二	三八五	二二一	七六	五、四九一	一一、四三二	二二、四三二
近衛師團	四、四三三	三三八	三五八	二二一	七六	五、四九一	一一、四三二	二二、四三二
計	四、六九三	六六〇	三、九七〇	一、六六一	六二四	五、〇三八	一〇、三九一	一九、三、九四九
明治二十五年	三、九八八	二八八	三、七四	二〇〇	六四七	五、五〇七	一四、一一七	九八、九七三
近衛師團	三、九八八	二八八	三、七四	二〇〇	六四七	五、五〇七	一四、一一七	九八、九七三
計	三、九八八	二八八	三、七四	二〇〇	六四七	五、五〇七	一四、一一七	九八、九七三
同 二十四年	三、七二一	二八九	三、八〇	二〇四	一、二二〇	五、八一四	一五、〇六二	九一、九四八
近衛師團	三、七二一	二八九	三、八〇	二〇四	一、二二〇	五、八一四	一五、〇六二	九一、九四八
計	三、八五五	三七一	三、九二二	二、五五九	五、一五四	八、三三五	九、九四八	一八、〇、七五一
同 二十三年	三、三三四	二三四	三、三九	一八二	七二二	四、七〇一	一三、六八八	七、一五一
近衛師團	三、三三四	二三四	三、三九	一八二	七二二	四、七〇一	一三、六八八	七、一五一
計	三、六九〇	三三三	三、七五四	一、一一九	四、六二二	三、五八五	七、一五一	一七、〇、九七九

近衛兵ノ豫備後備ハ各本籍師管ノ兵籍ニ編入セラル、モノニシテ各師管ニ分載スベキモノナリト雖モ茲ニ煩テ省、總計ニ於テノミ之ヲ區別ス〇表中其他トハ輜重輸

卒、看護手等ヲ云フ

第十一 海軍

海軍區

區

畫

軍

港

所

管

海岸延長里程

第 一	陸中國南九戸、北閉伊郡界ヨリ紀伊國南半婁、東半婁郡界ニ至ルノ海岸海面及小笠原島ノ海岸海面	相摸國三浦郡 横須賀 港	横須賀鎮守府	一、〇五七
第 二	紀伊國南半婁、東半婁郡界ヨリ石見、長門國界ニ至リ又筑前、豐前國界ヨリ九州東海岸ニ沿ヒ日向國南那珂、有諸縣郡界ニ至ルノ海岸海面及四國ノ海岸海面並ニ内海	安藝國安藝郡 吳 鎮守府	吳鎮守府	二、〇六七
第 三	筑前、豐前國界ヨリ九州西海岸ニ沿ヒ日向國南那珂、南諸縣郡界ニ至ルノ海岸海面及壹岐、對馬、沖繩諸島ノ海岸海面	肥前國東彼府 佐世保 鎮守府	佐世保鎮守府	一、四九七
第 四	石見、長門國界ヨリ羽後、陸奥國界ニ至ルノ海岸海面及隱岐、佐渡ノ海岸海面	丹後國加佐郡 舞鶴 鎮守府	舞鶴鎮守府	一、〇五五

海軍

軍艦及乘組人員

六〇

第五 北海道、陸奥及陸中國北九戸、南(膽振國室蘭郡 室蘭鎮守府未開 二二二七六) 九戸兩郡ノ海岸海面 (室蘭 港 廳) 舞鶴及室蘭鎮守府ヲ設置スルマデノ間第四海軍區中越後以東及第五海軍區ヲ橫須賀 鎮守府ニ管セシメ第四海軍區中越中以西ヲ吳鎮守府ニ管セシム 本表海岸延長里程ノ總計ハ七千九百五十二哩ナリ

○軍艦及乘組人員(△ハ旗艦) 明治二十六年十二月三十一日

種別	艦名	船材	排水量馬力	乘組人員							
				砲將及士官	候補士官	下士官	卒合計				
常備艦	松島	本管	佛順 四二七八	二八	四一	一〇	六八	二六四	四〇一		
	嚴島	本管	四二七八	五四〇〇	三〇	三三	一〇	七	五五	二五四	
	浪速	本管	三三〇九	七六〇四	一〇	二二	一〇	八	五九	二六〇	
	高千穂	本管	三三〇九	七六〇四	一〇	三二	八	七	五三	二四五	
	千代田	本管	二四三九	五六七八	二四	二二	一九	七	五三	二二九	
	高雄	本管	一七七八	二二三三	五	二一	二七	五	五	三七一	
	計			二〇一九	三四〇一	八	一〇七	一六	一七	五〇	四二
				三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	
				三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	
				三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	

府守鎮吳		府守鎮賀須橫												
警備艦	練習艦	非役艦	練習艦	警備艦	練習艦	警備艦	練習艦	警備艦	練習艦	非役艦	練習艦	警備艦	練習艦	非役艦
紫鋼	和鐵骨木皮	龍水	叡同	剛鐵骨木皮	野鋼	岩鋼骨鐵皮	城木	藏鐵骨木皮	山鋼	波木	桑鐵帶	立鋼	立鋼	立鋼
一七七一	一五〇二	一五四七	二二八四	二二八四	四二二六	六三三	九二六	一五〇二	一六〇九	一七七八	三三七七	四二七八	四二七八	五四〇〇
二四三三	一六三三	二二六七	二五三五	二五三五	一五九六	九六三	一七〇〇	一六三三	五四〇〇	五三	三三三〇	三三三〇	三三三〇	三三三〇
八	七	六	一一	九	三四	二	一〇	七	一一	八	一〇	一一	一一	一一
一	二	一	一	二	三	一	一	二	二	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	五	四	一	三	一〇	二	三	四	四	八	一	二	二	二
五	五	三	一	四	一〇	三	五	四	四	五	一	四	四	四
二九	二七	二七	一	四二	五六	一九	三三	二六	三三	三五	一	三〇	三〇	三〇
二二	一七五	一五八	一	二三四	二八	七〇	一〇四	一七九	九一	一八七	一	一三〇	一三〇	一三〇
一七七	二〇八	二〇八	一	三三二	二四	一〇三	一四八	二三〇	二六	二五一	一	一七九	一七九	一七九

軍艦及乘組人員

六一

○豫備後備員及下士卒

種別	下士						種別
	兵	軍	機	船	鍛	看	
豫備後備	曹	手	手	手	手	手	豫備後備
橫須賀鎮守府	一八	九	一四	八	六	七	豫備後備
吳鎮守府	一三		四	五	一	一	豫備後備
佐世保鎮守府	一〇		六	三	三	三	豫備後備
合計	四一	九	二四	一六	一〇	八	合計
豫備後備							豫備後備
橫須賀鎮守府							橫須賀鎮守府
吳鎮守府							吳鎮守府
佐世保鎮守府							佐世保鎮守府
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
總計							總計
明治二十五年							明治二十五年
明治二十四年							明治二十四年
明治二十三年							明治二十三年
合計							合計
主帳							主帳
看護							看護
鍛冶							鍛冶
船匠							船匠
機械							機械
軍樂							軍樂
兵曹							兵曹

卒

種別	卒						種別
	水	信	軍	火	木	鍛	
豫備後備	兵	號	生	夫	工	治	豫備後備
橫須賀鎮守府	三三四	一	一	七八	五	八	豫備後備
吳鎮守府	一九八			一二八	九	一〇	豫備後備
佐世保鎮守府	三五二	四		三一六	一〇	一二	豫備後備
合計	一七五	一六		三六八	二四	三〇	合計
豫備後備	二七一			二四			豫備後備
橫須賀鎮守府	七四						橫須賀鎮守府
吳鎮守府	九四七						吳鎮守府
佐世保鎮守府	四四七						佐世保鎮守府
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
總計							總計
明治二十五年							明治二十五年
明治二十四年							明治二十四年
明治二十三年							明治二十三年
合計							合計
看病							看病
廚夫							廚夫
總計							總計
明治二十五年							明治二十五年
明治二十四年							明治二十四年
明治二十三年							明治二十三年
合計							合計
田							田
畑							畑
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業
合計							合計
同二十三年							同二十三年
同二十四年							同二十四年
同二十五年							同二十五年
合計							合計
二十四年							二十四年
二十七年							二十七年
合計							合計
農							農
業							業

二十五年 二百七十四萬七千五百二十三町步 二百二十八萬九千九百五十九町步

粳米

糯米

二十五年 三千七百二十三萬三千二百三十三石 三百七十八萬九千九百八十二石
二十六年 三千三百五十萬二千一百一十一石 三百四十萬九千九百五十六石

陸稻

大麥

二十五年 三十六萬三千二百五十九石 六百八十萬九千二百七十五石
二十六年 二十九萬七千四百九十六石 七百十九萬六千五百六十九石

稞麥

小麥

二十五年 六百五萬七千三百三十四石 三百七萬四千八百六十七石
二十六年 六百二十一萬八千五百九十五石 三百二十一萬八千六百七十七石

繭

蠶絲

二十四年 百五十八萬二千四百四十石 百五十四萬三千三百八十五貫
二十五年 百四十八萬七千五百五石 百六十四萬三千二百八十一貫

真綿

蠶卵紙

二十四年 五萬四千八百三貫 二百七十九萬二千五百四十二枚

二十五年 五萬七千二百二十一貫

二百八十三萬千五百五十九枚

製茶

製糖

二十四年 七百九萬六千三百九十八貫
二十五年 七百八十二萬二千三十四貫

千二百十三萬六千二百二十貫
千十四萬六千二百二貫

雜類

二十五年

大豆	三百一十一萬六千六百六十五石	粟	三百一萬六千六百七十八石
稗	百十三萬五千五百七十石	黍	二十七萬八千二百五十九石
蜀黍	十八萬四千三百十四石	蕎麥	百十五萬六千二百六十一石
甘藷	五億六千八百三十七萬六千六百六貫	馬鈴薯	四千四十九萬四千四百三十一貫
實綿	千二百五十八萬四千八百二十二貫	大麻	二百七十四萬五千八百二貫
苧麻	三十三萬四千九百二貫	菜種	百二萬六千五百七十二石
葉煙草	七百六十四萬三千二百三貫	藍葉	千五百四十四萬七千八百二十二貫
甘蔗	一億三千三百三十三萬八千三百十六貫	生蠟	三百二十七萬二千二百二貫
漆汁	二萬八千五百二貫		

(備考)産出高前回の國勢一斑に符合セサルモノアルハ訂正セシニ由ル

○牛馬頭數 屠殺年中其他八十(第七次第八次第九)
二月三十一日現在 (次農商務統計表)

牛

人口千人
二付頭數

屠殺

二十四年 百五萬七千四百二十二頭
二十五年 百九萬三千六百三十八頭

二十六頭 八萬九千三百六頭
二十七頭 十萬六百二十九頭

馬

人口千人
二付頭數

屠殺

二十四年 百五十四萬七千六百六十一頭
二十五年 百五十五萬二千五百三十頭

三十八頭 二萬五千八百十七頭
三十八頭 二萬六千八百十七頭

第十三 水產物製造高 (農商務省調)

乾物類

鱈節

鮪節

二十四年 百四十七萬七千五百七十八貫
二十五年 百六十六萬六千五百四十三貫

十二萬千七百五十六貫
十七萬百九十貫

鱈

田作

二十四年 二百九十三萬四千七十三貫

六十三萬三千七十貫

二十五年 二百八十二萬五千二百七十五貫

六十九萬七千五百七十七貫

鱈

鱈

二十四年 四十四萬八千七百二十四貫
二十五年 五十三萬六千六百八十六貫

二十八萬六百三十八貫
三十二萬九千八百六十九貫

鯖

鮓

二十四年 三十萬三千六百十二貫
二十五年 十四萬八千三百一十一貫

十三萬二千五百四十九貫
十三萬五千三百八十三貫

鰻

煎海蜆

二十四年 百五十一萬七千九百二十四貫
二十五年 百二十八萬百二十六貫

九萬四千四百九十二貫
七萬七千三十八貫

鰻

鱈鱈

二十四年 四十一萬八千八十二貫
二十五年 四十六萬千五百五十三貫

五萬七千三百九貫
四萬九千百九十九貫

鮑

揚卷

二十四年 十四萬八千五十八貫

三萬七千七百十三貫

水產物製造高

二十五年 十六萬千八百八十五貫

三萬五千五百四十七貫

淡菜

貝柱

二十四年 十一萬六百九十一貫

三萬三千三百六貫

二十五年 五萬六千八百十三貫

三千八百十六貫

馬刀

二十四年 一萬六千五百七十四貫

二十五年 七千八百九十九貫

鹽物類

鮭

鱒

二十四年 三百八萬三千八十貫

四十五萬五千二十一貫

二十五年 四百十五萬九千三百五十四貫

二百二十六萬六千六百六十貫

鱒

鱒

二十四年 六十萬五百八十三貫

百八十四萬三千七十八貫

二十五年 百八十七萬九千九百八十七貫

百九十六萬二千六百四十四貫

鯖

鯖

二十四年 百四十五萬四千三百十八貫

四十七萬四千七百三貫

二十五年 百六十八萬二千八百四十八貫

四十二萬二千六百二十二貫

鱒

鱒

二十四年 二十四萬五千二百三十一貫

二十三萬九千五百四十八貫

二十五年 四十二萬六千七百八十二貫

四十八萬九千九百七十三貫

苔藻類

昆布

海苔

二十四年 五百八十五萬七千六百五十四貫

三十四萬七千六百七十六貫

二十五年 八百三十四萬五千七百一貫

十九萬二千五百七十五貫

荒布

和布

二十四年 四十三萬八千三百四十三貫

百十三萬二千六百十五貫

二十五年 八十二萬三千三百九十九貫

百十六萬七千七百七十七貫

海羅

鹿尾菜

二十四年 十六萬四千五百六十九貫

三十一萬二千五百三十五貫

二十五年 百六十三萬七千四百三十貫

三十萬千五百五十七貫

水產物製造高

鐵產物出來高

鹿角菜

石花菜

二十四年 十萬七千八百二十九貫
二十五年 十萬二千二百四十三貫

三十四萬三千二十九貫
四十七萬六千七百七十八貫

雜類

食鹽

寒天

二十四年 五百五十萬七千九十七石
二十五年 五百六十五萬四千四百九十二石

九萬四千七百六十九貫
二十萬三千三百二十一貫

魚蠟

魚油

二十四年 三百貫
二十五年 三千五百八十六貫

百六萬七千九百十八貫
八十六萬六千四十九貫

肥料

乾鹽

榨滓

二十四年 三百六十三萬二千九百八十一貫
二十五年 四百六十一萬七千八百四十八貫

三千四十三萬七千六百四十七貫
二千二百四十七萬八千二百八十三貫

第十四 鑛產物出來高

官行

二十四年

二十五年

金 五十七貫九百五十七匁

七十二貫二十匁

銀 千五百九十一貫九百五十六匁

二千二百十貫四百九十七匁

銅 四千六百五十五貫

七萬三千四百二十二貫

鉛 五百七十二貫

一萬八千六百九十一貫

銑鐵 五十二萬四千二百八十三貫

三十七萬七千二百七十二貫

鍊鐵 三十一萬四千五百四十四貫

二十三萬六千九百五十貫

丹礬 九萬四千七百七貫

五十萬二千三百九十五噸

石炭 六十萬三千三百十噸

民行

二十三年

二十四年

金 百二十六貫三百二十七匁

百二十八貫七百四十匁

銀 一萬二千二百三十七貫六百七十九匁

一萬四千五十七貫三百三十匁

銅 四百八十五萬四百十三貫

五百五萬九千九百七十九貫

鐵產物出來高

鉛	二十萬六千六百十二貫	二十一萬三千七百三十五貫
錫	一萬二千六百五十五貫	一萬千八百七貫
安質母尼	二萬五千六百七十七貫	一萬六千六百五十六貫
滿俺	六十九萬九千六百一十一貫	八十五萬九千五百二十四貫
砒	七十七貫	二貫
銑鐵	三百七十六萬四千五百五十貫	三百二十二萬八千三百七十六貫
鋸	六十一萬二千三十二貫	四十六萬七千三百一十一貫
鋼鐵	三十一萬五千八百八十九貫	十九萬九千九百三十六貫
鍊鐵	三十二萬九千八百三十九貫	二十萬五千五十九貫
綠礬	二十五萬二千五百九十五貫	十五萬五千五百二十一貫
丹礬	七千二百三十三貫	六千四十八貫
白目	千九百七十貫	千二百九十六貫
紅殼	千二百八十八貫	四千五百二十貫
石炭	*二百五十七萬八千八百八十八噸	*三百十二萬九千三十二噸
硫黃	五百五十一萬九千九百二十四貫	五百八十四萬七千七百四十六貫

石油	一萬千八百八十石	一萬三千十二石
黑鉛	*百二十一萬七千三百五十二貫	*六十五萬五千八百五十一貫
土瀝青	千二百四十七貫	千三百六十九貫
明礬	三千百三十九貫	千二百八十五貫
岩木	*八千六百二十三噸	*七千二百八十六噸
水晶	*千百三十九貫	*二千三百六十三貫

第十五 工業

(備考) *ハ採掘高ナリ

綿絲洋製機械取

綿絲和製機械取

二十五五年	九百九十七萬七千二百八貫	四十三萬七千三百六十八貫
二十六年	千六十六萬六千七百四十四貫	木綿織
二十四年	四百八十三萬二千二百九十六反	三千六百十七萬五千九百二反
二十五年	五百七十一萬四百六十反	四千二十一萬九千三百三十六反
	絹綿交織	其他ノ織物

二十四年	三百三十四萬八百九反	三百八十六萬九百六十七反
二十五年	三百六十一萬八千七百三十五反	百八十四萬三千三百三十八反
帶地絹織		帶地木綿織
二十四年	八十五萬二千二百七十本	百七十二萬四千二百六十三本
二十五年	四十六萬八千七百八本	百五十二萬六千二百二十本
帶地絹綿交織		陶器磁器製造價額
二十四年	百四十一萬二百六十三本	三百八萬五千五百六十二圓
二十五年	百五十六萬二千二百二本	三百七十六萬二千二百二十五圓
紙製造價額		疊表製造價額
二十五年	四百九十一萬千八百四十七圓	百二十三萬千八百五十三圓
草座製造價額		麥稈紐製造價額
二十五年	百一萬二千九百九十二圓	二十五萬千五百七十七圓
皮類製造價額		油類製造價額
二十五年	百三十九萬六千三百九十七圓	四百五十六萬九百二十二圓
摺附木製造價額		

二十五年 四百九十五萬六千九百九十六圓

○酒醬油造石高

二十四年期	三百二十九萬二千二百十六石	三萬四百四十九石
二十五年期	三百四十九萬五千五百七十三石	三萬千七百七十三石
燒酎		酒精
二十四年期	五萬自三十五石	千六百四十一石
二十五年期	五萬三百十四石	千三百八十四石
白酒		味淋
二十四年期	千七百三十七石	二萬六千三百四十四石
二十五年期	千八百三十四石	二萬四千二百五十四石
醱酒		
二十四年期	四千四百六十四石	
二十五年期	四千七百石	
醬油		

酒醬油造石高

二十四年 百十九萬九千五百三十三石
二十五年 百二十一萬四千七百四十六石

第十六 商業

○諸銀行ノ資本金 十二月三十一日現在 (二十五年ハ第十二統計年鑑其他ハ大藏省調)

店數 資本金

二十四年 千八百 一億四百八萬九千三百九圓

人口一人ニ對スル資本金 二圓五十五錢六厘

二十五年 千八百五十五 九千九百六十二萬六千四百二十一圓

二圓四十二錢五厘

内

日本銀行 一 千萬圓

正金銀行 一 四百五十萬圓

國立銀行 百三十三 四千八百三十二萬五千六百圓

私立銀行 二百七十 二千二百八十五萬六千七百七十七圓

銀行類似會社 六百八十 千三百九十四萬四千六百四十四圓

(備考)私立銀行ハ曆年或ハ會計年度或ハ特ニ定メタル決算期等アリテ其調査一定セ

ス且ツ報告未達ノ爲メ調査漏ノモノアリト雖モ姑ク茲ニ掲ク

○諸會社 十二月三十一日調(第十二統計年鑑)

社數 資本金

二十四年 四千三百六 一億九千九百五十八萬八千四百九十九圓

平均一社資本金 四萬六千三百六十五圓

内

山林業 十一 百二十九萬五千六百圓

十二萬六千八百七十三圓

蠶業 百六十一 百七十七萬七千二百圓

六千六百五十圓

耕作 三十 九十二萬八千二百一十一圓

三萬六千九百九十四圓

牧畜 八十 八十五萬二千八百六十三圓

一萬六千六百六十一圓

業農

肥料製造 七 五十一萬八圓

七萬二千八百七十三圓

開墾 十七 三十七萬八千三百二十圓

二萬二千二百五十四圓

捕鯨 八 十七萬六千六百圓

二萬二千七十五圓

其他 八十五 百萬九千五百圓

一萬千八百七十六圓

貸金 三百 六百七十八萬七千二百三十三圓

二萬二千六百二十四圓

水產物 三十五 百七十四萬四千六百五十五圓

四萬九千八百四十七圓

諸會社

八一

業商		業工	
雜貨	五十三	鐵道	二十二
外國貿易	九	其他	七千七百七十九圓
穀物	八十六	織物	二百六十九萬四千九百七十九圓
生絲	二十六	生絲	七百九十九萬三千七百七十九圓
綿及綿絲	九	紡績	四百九十九萬四千九百七十九圓
其他	五百七十七	礦業	二百三十三萬五千九百五十二圓
	千四百九十一萬八千七百七十四圓	及精煉	二百三十三萬五千九百五十二圓
		其他	七千七百七十九圓
		電燈	十四
		其他	七千七百七十九圓
		製紙	三十七
		其他	七千七百七十九圓
		土木	四十二
		其他	七千七百七十九圓
		馬車	九
		其他	七千七百七十九圓
		水運	百三十一
		其他	七千七百七十九圓

水陸運輸

水運 百三十一 千五百八十三萬四千四百四十九圓 十二萬八百七十一圓
 馬車鐵道 九 百十七萬五千五百圓 十三萬百六十七圓
 其他 百七十 三百五萬九千九百五十五圓 一萬七千九百五十三圓

(備考)本項ニハ米商會所株式取引所及銀行類似會社ヲ除ク
 工業ハ集合體ニ拘ハラズ一箇人ト雖モ資本金千圓以上ヲ營業スルモノハ之ヲ
 合載ス

第十七 輸出入

○輸出入物品原價

(大藏省外國貿易年表)

輸出		輸入	
二十五年	九千一百十萬二千七百五十三圓	七千三百三十二萬六千八十圓	
二十六年	八千九百七十一萬二千八百六十五圓	八千八百二十五萬七千七百七十一圓	
		內	
有稅品	五千五百五十三萬二千四百二十二圓	七千九百四十六萬二千四百四十圓	
無稅品	三千六百六十九萬九千五百五十二圓	八百七十九萬五千三十一圓	
船用品	百五十七萬二千七百七十一圓		

輸出入物品原價

輸出入物品類別

(備考)價格ハ銀圓ナリ次ノ二項モ亦同シ

○輸出入物品類別 二十六年

輸 出	八千八百九十五萬四千四百圓	藥材製藥及染料彩料類	二百三十四萬六千四百七十八圓
書籍及紙類	三十六萬二千二百六十七圓	金 屬	五百一萬二千二圓
穀物及飲食物類	千五十八萬六千八百九十圓	蠶絲蠶綿類	三千五百九十九萬八千三百三十六圓
油及蠟類	百五十五萬九千三百圓	製 茶 類	七百七十萬二千八百八圓
皮毛甲角類	三十三萬三千六百三圓	烟 草 類	十萬四千八百九十六圓
布帛衣裳及其材料類	千五十八萬八千五百八十七圓	飲食物類	九十九萬五千二百十四圓
雜 貨	千九百二十七萬七百七十四圓	衣 服 及 附 屬 品 類	七十二萬九百十四圓
輸 入	八千八百八十八萬七千六百三十圓	染料及彩料類	百八十一萬七千九百四十九圓
兵器時計及諸機噐具類	六百三十三萬五千九百九十四圓	穀物及種子類	七百一萬五千九百五十九圓
書籍及文具類	七十三萬五千五百九圓	金 屬 及 金 屬 器 噐	六百七十九萬二千二十四圓
藥材及製藥類	三百三十萬九千四百五十一圓		
玻 璃 類	四十六萬七千五百二十四圓		
角牙皮毛類	百四十二萬六千八百九十六圓		

油及蠟類 四百七十二萬八千六百九十一圓
 布帛絲縷及其材料類 三千八百九十五萬三千九百七十三圓
 酒 類 四十六萬九千九十一圓

砂 糖 類 千五百五十六萬四千四百十九圓
 烟 草 類 四十七萬三千六百三十九圓
 雜 貨 二百六十九萬八千八百三十三圓

(備考)前項ノ物品原價ト本項ノ金額ト符合セサルハ再輸出入品ヲ算入セサルニ由ル

○輸出入金銀價額

輸 出	輸 入
二十二年 五百十八萬八千五百二十九圓	千四百十七萬三千二百四十六圓
二十三年 千三百七十七萬八千五百三十一圓	百二十萬六千七百七圓
二十四年 百四十五萬二千九百六十四圓	千三百八十八萬八千五百二十六圓
二十五年 九百七十二萬九千七百五十三圓	二千二百八十八萬三千七百五十七圓
二十六年 千二百二十八萬九千八百八十八圓	千百十八萬六千四百八十七圓
內	
金 二百三十萬二千六百七十八圓	四十九萬六千七百三十圓
銀 九百九十八萬六千五百十圓	千六十八萬九千七百五十七圓

輸出入金銀價額

第十八 船舶

(軍艦ヲ除ク)

(西洋形船ハ遞信省調
日本形船ハ大藏省調)

二十三年

二十四年

二十五年

西洋形船	千四百五十一艘	千四百四十二艘	千四百二十一艘
蒸 瀛	五百八十六艘	六百七艘	六百四十三艘
風 帆	八百六十五艘	八百三十五艘	七百七十八艘
日本形船	六十三萬八千二百五十九噸	六十四萬四千三百八噸	六十四萬五千二百三十二噸
大 船	二萬五千九百四艘	一萬八千二百二十七艘	一萬七千七百四十二艘
小 船	六十一萬五千九百八十七艘	五十八萬四千五百二艘	五十八萬五千九百三十五艘
遊 船	千六百七十八艘	千五百七十九艘	千五百五十五艘

(備考)日本形船ノ二十三年ハ後半期ニ於テ賦稅セシ員數其他ハ年未現在ナリ
大船トハ五十石以上小船トハ五十石未満ノモノヲ云フ

第十九 鐵道

明治廿七年九月三十日

名 稱 線 路 區 間 線 路 長 既 成 線

官 設 鐵 道

私 設 鐵 道

日本鐵道株式會社	新橋ヨリ神戶、大船ヨリ橫須賀、大府ヨリ武豐、米原ヨリ金ヶ崎、高崎ヨリ直江津、馬場ヨリ大津、深谷ヨリ長濱、福島ヨリ山形、青森、敦賀ヨリ富山	九七九・六六	五五七・六一
山陽鐵道株式會社	神戶ヨリ赤間關、兵庫ヨリ和田崎町	三二一・五九	一九一・五八
九州鐵道株式會社	門司ヨリ三角、鳥栖ヨリ長崎、有田ヨリ佐世保、宇土ヨリ八代、小倉ヨリ行橋	二七一・二六	一三九・八二
北海道炭礦鐵道株式會社	室蘭ヨリ歌志内、追分ヨリ夕張、手宮ヨリ幌内、幌内太ヨリ幾春別、砂川ヨリ空知太	二〇四・八九	二〇四・八九
關西鐵道株式會社	草津ヨリ名古屋、龜山ヨリ津	八一・五〇	六七・四四
大阪鐵道株式會社	梅田ヨリ櫻井、王寺ヨリ奈良	四四・九八	三八・五九
筑豐鐵道株式會社	若松ヨリ金田、直方ヨリ飯塚、勝野ヨリ幸袋	三四・二三	三〇・七三
兩毛鐵道株式會社	小山ヨリ市橋	五三・二一	五三・二一

甲武鐵道株式會社	八王子ヨリ飯田町	二六・九七	二二・九七
總武鐵道株式會社	本所ヨリ佐倉	三一・〇〇	二五・〇〇
參宮鐵道株式會社	津ヨリ小俣	二三・七二	二三・七二
播但鐵道株式會社	飾磨ヨリ生野	三〇・七一	一八・四一
阪堺鐵道株式會社	難波ヨリ堺	六・二六	六・二六
讚岐鐵道株式會社	丸龜ヨリ琴平	一〇・一九	一〇・一九
攝津鐵道株式會社	尼ヶ崎ヨリ池田、伊丹ヨリ生瀨	一四・四四	八・四四
釧路鐵道株式會社	標茶ヨリ跡佐登	二六・八四	二六・八四
伊豫鐵道株式會社	高濱ヨリ平井河原、立花ヨリ森松	一三・〇三	一〇・二四
佐野鐵道株式會社	葛生町ヨリ越名川岸	九・六七	九・六七
合		一、九七一・九五	一、四八二・一四
總計		二、九五一・六一	二、〇三九・七五
第二十 郵便及電信 (遞信省調及第十一統計年鑑)			
二十四年			二一、五五
二十五			二、七〇六
郵便局	三千六百九十六		三千七百六

同 函	二萬七千二百六十七	三萬千二百四十一
同 線 路	一萬八千七百四十四里	二萬里
郵便物數	二億三千八百六十八萬個	二億七千二十一萬九千個
書 狀	六千六百四十萬七千個	七千九十八萬五千個
葉 書	一億六百六十一萬二千個	一億二千六百四十五萬二千個
新聞雜誌	四千九百八萬二千個	五千二百七十七萬八千個
書籍類	二百七十七萬九千個	四百七十一萬七千個
見 本	二十五萬六千個	二十五萬二千個
農產物種子	四萬千個	五萬四千個
貨幣封入	二千個	千個
免 稅	千六十三萬七千個	千二百三十七萬九千個
書 留	二百八十六萬四千個	三百二十萬三千個
外國郵 發	八十四萬個	九十萬四千個
復物數着	百一十一萬七千個	百四十八萬六千個
電信局	四百六十九	四百七十九

同取扱所	五十五	六十
同線路	三千四百三十三里	三千三百七十三里
同線路延長	九千八十里	九千七百四十六里
音信通數	四百三十七萬九千八百三十六	五百一十一萬四千四百十
內國發	四百二十八萬四千五百四十三	五百一萬八千九百三十一
外國發	四萬七千六百七十五	四萬七千九百二
外國着	四萬七千六百十八	四萬七千五百七十七

○電話交換局所線路 三月三十日現在 第十二統計年鑑

局所	線路長	線路長
二十五年	二 十八	九十二里七厘
二十六年	四 二十	百五十三里六分四厘
內		六百四十四里七分六厘
東京	一 十六	百三十二厘
橫濱	一 二	十里四分四厘
大阪	一 一	十五里二厘
		九百五十六里四分五厘
		八十三里二分二厘
		百十四里九分七厘

神戶 一 一 五里九分七厘 三十五里九分

(備考)線路總數ニハ東京橫濱間ノ線路長九里四分四厘線路長九十四里四分一厘大阪神戶間ノ線路長九里七分五厘線路長四十里一分八厘ノ市外接續線ヲ算入セシヲ以テ内譯ト符合セス

○支那(帝國)

第一 帝室

今帝名ハ載樞千八百七十一年ヲ以テ生ル咸豐帝ノ弟醇親王ノ子ナリ千八百七十五年一月二十二日同治帝ニ繼テ位ニ即キ光緒帝ト稱ス

第二 政體

帝國ノ法律ハ大清會典ニ記載シ國政ハ戚族政體ニ基ク皇帝ハ帝國ノ政教ヲ總攬シ其大臣ヲシテ宗教ノ大禮ヲ行ハシム行政ハ内閣ノ總轄スル所ニシテ内閣員ハ四人ヨリ成ル滿洲出生ノ者二人支那出生ノ者二人ニシテ又翰林ヨリ二人ヲ出シ其補官ニ充ツ翰林學士ノ任ハ施政ノ法大清會典及ビ孔子ノ經典ニ違ハザルヤ否ヤヲ察スルニ在リ内閣員ハ即チ帝

支那帝室○政體

國ノ大臣ニシテ政府ノ七部ハ其指揮ニ屬シ各部ハ滿洲人一人支那人一人ヲ以テ之ヲ統轄ス初メ政府ハ六部ニ分レシガ千八百八十五年末ニ至リ勅令ヲ發シ新ニ海部ヲ設ケテ七部トナス即チ左ノ如シ

- 第一 吏部 行政官ノ品行及ビ治績ヲ審査ス
 - 第二 戶部 財政一切ノ事務ヲ規定ス
 - 第三 禮部 儀制祠祭等ヲ掌ル
 - 第四 兵部 軍務ノ事ヲ監督ス
 - 第五 工部 造營事務ヲ掌ル
 - 第六 刑部 法律刑名ヲ掌ル
 - 第七 海部 南北洋艦隊及ビ福建、廣東艦隊ノ事務ヲ掌ル
- 此他事務各國總理衙門ナル者アリテ各國交際事務ヲ統轄ス專任尙書ヲ置カズ軍機大臣、各部尙書、侍郎數人ヲ以テ之ニ兼任ス

○職員

內閣大學士 李鴻章(支那人) 額勒和布(滿洲人) 恩承(滿洲人)
 張之萬(支那人)

內閣協辦大學士 福錕(滿洲人) 徐桐(支那人)
 軍機處軍機大臣 恭親王(宗室) 額勒和布(滿洲人) 張之萬(支那人)
 許庚身(支那人) 孫毓汶(支那人)
 吏部尙書 麟書(滿洲人) 徐桐(支那人)
 戶部尙書 熙敬(滿洲人) 翁同龢(支那人)
 禮部尙書 崑岡(滿洲人) 李鴻藻(支那人)
 兵部尙書 敬信阿(滿洲人) 孫毓汶(支那人)
 刑部尙書 崧桂(滿洲人) 薛允升(支那人)
 工部尙書 懷塔布(滿洲人) 孫家鼐(支那人)
 海部 (新立ニ係ルヲ以テ未ダ尙書ヲ置カズ)
 總辦大臣 慶郡王(宗室) 會辦大臣 李鴻章(支那人)
 帮辦大臣 定安(支那人) 劉坤一 善慶
 事務各國總理衙門
 佩帶印鑰總理大臣 慶郡王 總理大臣 福錕
 總理大臣 許庚身 總理大臣 孫毓汶

總理大臣 徐用儀 總理大臣 廖壽恒
 總理大臣 續昌 總理大臣 張蔭桓
 總理大臣 洪鈞

第三面積及人口

○支那本部

省名	方哩	人口	省名	方哩	人口
陝西	六七、四〇〇	八、二七六、九六七	甘肅	二五、四五〇	四、三六八、八七二
直隸	五八、九四七	一七、九三七、〇〇〇	河南	六五、一〇四	二二、一七〇、三六六
山東	六五、一〇四	三六、五四五、七〇四	江蘇	四四、五〇〇	二二、二五九、九八九
山西	五六、二六八	一〇、七九一、三四一	安徽	四八、四六一	二〇、五九六、九八八
江西	七二、一七六	二四、五四一、四〇六	四川	一六六、八〇〇	七、〇七三、七三〇
福建及臺灣	五三、四八〇	二二、五〇二、七九四	廣東及海南島	七九、四五六	二九、七四〇、〇五五
浙江	三九、一五〇	一一、六八五、三四八	廣西	七八、二五〇	五、二二一、三三七
湖北	七〇、四五〇	三三、六〇〇、四九二	雲南	一〇七、九六九	一一、七二一、五七六
湖南	七四、三二〇	二二、〇〇五、一七一	貴州	六四、五五四	七、六六九、一八一

總計

方哩

一、三三六、八四一

三八一、五五四、九七七

○支那帝國

方哩

人口

支那本部 一、三三六、八四一

三八一、五五四、九七七

滿洲 三六二、三一〇

一一、〇〇〇、〇〇〇

蒙古 一、二八八、〇〇〇

二、〇〇〇、〇〇〇

西藏 六五一、五〇〇

六、〇〇〇、〇〇〇

屬國 一四七、九五〇

六〇〇、〇〇〇

ヅンガリヤ 四三一、八〇〇

五八〇、〇〇〇

支那帝國總計 四、二二八、四〇一

四〇二、七三四、九七七

第四 大都府及開港場

北京ノ人口ハ凡ソ五十萬ヨリ百六十五萬ノ間ニアリ此他大都府ノ人口モ詳カナラザルモノ多シ今開港場ノ人口ヲ舉グレバ左ノ如シ(千八百八十七年調)

廣東 一、六〇〇、〇〇〇 鎮江 一三五、〇〇〇 牛莊 六〇、〇〇〇

天津 九五〇、〇〇〇 打狗 一〇〇、〇〇〇 九江 五三、〇〇〇

支那帝國大都府及開港場

九五

財政○經常歲入概算

漢口	七七〇、〇〇〇	淡水	一〇〇、〇〇〇	瓊州	四〇、〇〇〇
福州	六三〇、〇〇〇	廈門	九五、六〇〇	宜昌	三四、〇〇〇
上海	三五五、〇〇〇	溫州	八〇、〇〇〇	芝罘	三二、〇〇〇
寧波	二四〇、〇〇〇	蕪湖	七二、〇〇〇	汕頭	三一、〇〇〇
臺灣	一三五、〇〇〇	鷓籠	七〇、〇〇〇	北海	二五、〇〇〇

第五 財政

政府ノ歲入ハ貿易港關稅ノ外之ヲ公ニセズ輓近地租、穀稅、鹽稅、關稅ノ歲入額ヲ概算スレバ二千五百萬磅ナリ地租ノ率ハ年「一」エーカー「二」付北部ハ「三」志「南部」ハ「十三」志以下ナリトス

○經常歲入概算 千八百八十六年

地租(銀貨ヲ以テ納ムベキ者)	二〇、〇〇〇、〇〇〇	兩
貢米	二、八〇〇、〇〇〇	
鹽稅	九、六〇〇、〇〇〇	
貿易港關稅(阿片厘金稅ヲ算入ス)	一三、五〇〇、〇〇〇	
內地關稅	六、〇〇〇、〇〇〇	

内外雜品及阿片通過稅

營業稅

總計

計

第六 國債

千八百七十四年ニ支那政府ハ第一回ノ外國債ヲ起セリ此金高千三百五十萬兩ニシテ内已ニ償却セシモノ七百萬兩アリテ殘額六百五十萬兩ナリ此外内國債ハ三千萬兩ナリ又千八百八十七年二月外債二十五萬磅ヲ獨逸國ニ募レリ千八百八十七年ノ調査ニ據レバ外債ノ高ハ凡ソ五百萬磅ナリ

第七 宗教々育

支那國ノ宗教ハ重ニ儒教佛教及ビ道教ニシテ儒教ハ獨リ此國ニ於テ國教タルノ資格ヲ有シ孔子ノ教ヲ守リ道德ヲ研究シ其禮式ハ全國ニ普及ス道教ハ元純然タル哲學ナリシモノ千八百年前佛教ノ入りシヨリ以來其禮式ニ擬セリ支那中部及ビ南部ノ人民ハ多ク右三教ヲ信スルモ國民ノ多數ハ佛教ヲ奉ズル者ナリ回教徒ハ殆ド三千萬人アリ殊ニ東北及ビ西南部ニ多シ舊教ハ永ク支那國ニ行ハレ信徒凡ソ百萬人アリ他ノ耶穌教各派ヲ奉ズル者五萬人アリ

國債○宗教々育

或ル種類ノ教育ハ大ニ國內ニ普及スト雖モ讀寫ニ堪エザル成年者尙ホ多シ又國文科擧ノ學ヲ以テ一生ヲ終ル者アリ毎年ノ試験ニハ及第者ニ進士秀才等ノ學位學稱ヲ與フ凡ソ此試験ニ由ラザレバ官途ニ進ムヲ得ズ北京ニハ政府ノ轄ノ洋學大學校アリ同文館ト名ク學科ハ英佛獨露ノ語學、數學、科學、西洋文學ニシテ教師ハ多ク歐米人ヲ用ユ又先年天津上海福建ノ兵器製造所陸海軍ノ兵學校及ビ水雷學校ヲ起シ西洋ノ兵式及ビ文學ヲ教授ス

第八 陸軍

陸軍兵制ノ大綱ヲ舉ケレバ八旗兵、綠旗兵、練軍、勇兵、藩部旗兵及ビ西藏兵ナリ八旗兵ハ滿洲ニシテ清廷ニ從ヒ支那本部ニ入り世々兵籍ニ列シ支那本部及ビ滿洲部等ヲ守衛スル兵ニシテ其旗正黃、鑲黃、正白、鑲白、正紅、鑲紅、正藍、鑲藍ノ八色ヲ用ユ故ニ八旗兵ト謂フ每旗下滿洲兵ヲ以テ編制スル者蒙古兵ヲ以テ編制スル者漢兵ヲ以テ編制スル者アリ合セテ二十四旗トス綠旗兵ハ漢人ヲ以テ編制シ支那本部及ビ邊境ニ駐劄シ外侮ヲ折衝シ内亂ヲ鎮撫スルノ常備兵ニシテ練軍ハ綠旗兵中ノ強健ナル者ヲ拔擢シ訓練ヲ加ヘタル者ニシテ各省皆之ヲ備フ勇兵ハ國家有事ノ際壯勇ヲ募リ八旗綠旗兩兵ノ闕ヲ補足スルニ始マリ方今各省皆之ヲ募リ不虞ニ備フ故ニ今日ニ在テハ一種ノ常備兵ナリ勇兵中李鴻章ノ募集シタル淮軍ト稱スル者アリ歐洲士官ノ教練ニ係リ兵器軍裝共ニ完備シ實ニ各

省勇兵中ノ精銳ニシテ當今ノ強兵ナリ藩部旗兵併ニ西藏兵ハ内外蒙古西藏等ノ兵ニシテ平時ハ其警備ニ充テ事アレバ征討ノ役ニ任ズ

○陸軍兵制總表

地方	八旗兵	綠旗兵	勇兵	練軍
直隸	一六二、六四六	四七、一三八	二二、七〇〇	四、〇〇〇
山西	四、一四九	二六、二八八	五、七〇〇	
山東	二、四〇五	二五、四〇六	六、五〇〇	
河南	一、〇一一	八、九四三	四、五〇〇	五、〇〇〇
江蘇	六、五三九	四六、八四〇	二二、七〇〇	
安徽		四六、八四〇	四、四〇〇	
江西		一一、〇七四		
浙江	四、〇五五	三七、五四六	二、八五〇	
福建	二、七八一	六二、五七三	五、五〇〇	
廣東	五、三五六	六九、〇一五	三、〇〇〇	
廣西		一一、五三五		三、〇〇〇

陸軍兵制總表

陸軍兵制總表

四川	二、〇六五	三四、七九〇	一二、九〇〇
湖北	五、八四九	二二、六〇三	六、〇〇〇
湖南	—	二六、四七〇	—
陝西	六、七一九	四三、二六一	—
甘肅	五、七九二	四三、五一九	—
雲南	—	三六、一一〇	—
貴州	—	三〇、六一三	—
盛京	一九、五九二	—	—
吉林	一〇、七二三	—	—
黑龍江	一一、六六一	—	—
滿州	—	—	—
烏魯木齊	七六、二三三	—	—
伊犁	七九、二五	一五、二九五	—
計	二六六、八二七	五九九、〇一九	九七、七五〇
總兵數	—	九十七萬五千五百九十六人	—

右ノ外烏魯木齊ニアル回兵千六百三十六人、伊犁ノ遊牧兵五千二百十九人、蒙古兵九萬

九千二百三十九人、西藏及蒙古ノ遊牧兵一萬三千三百六十五人、番兵三千六百六十二人ヲ算入スレハ、表面丈ハ一百〇九萬八千六百二十三人ノ兵アルナリ然レドモ實際ノ用ニ立ツハ僅カニ練軍其他數萬ニ過ギズト云フ

第九 海軍

海軍ハ分テ北洋、南洋、福建、廣東ノ四艦隊トナシ支那本部沿海各省ノ警衛ニ備フル者トス艦隊中北洋艦隊ハ英國士官ノ編成教練ニ係リ北京防衛ノ任ニ當ル強大ノ艦隊ナリ四艦隊ノ外長江水師ナル者アリ艦船ノ數七百八十六艘其船體皆短小ニシテ長キ者ハ四十英尺短キ者ハ廿七八英尺ニ過ギズ職員七百六十八人兵員一萬二千三百二人アリ長江内ニ布置シ其鎮守ニ備フル者トス

○北洋艦隊 (十七艘)

北洋艦隊ハ明治廿八年二月十二日我軍ノ爲ニ全滅ス

艦種	艦名	噸數	馬力	艦質	竣工年	速力
甲鐵艦	定遠	七、三三五	六、〇〇〇	鋼	明治十五年	一四、五
全上	鎮遠	全上	全上	全	十六年	全上
全上	來遠	二、九〇〇	五、〇〇〇	全	二十年	一五、五
甲裝巡航艦	平遠	二、〇〇〇	一六、〇〇〇	全	廿一年	一四、〇

海軍○北洋艦隊

輸出輸入○同其類別

絲ノ如キハ毎年ノ産額大約二千二百萬磅ニ下ラズ又福建、廣東、廣西ニハ農事ノ外漁獵及ビ製糖製茶ノ業アリ中部即チ湖北、河南ハ水田稀ニシテ専ラ火田ヲ耕ス北部即チ山東、直隸、山西、陝西、甘肅等ノ各省ハ一般ニ蜀黍麥菽ヲ産シ耕耘ノ外牧畜盛大ニシテ毎月牛馬ヲ畜ハザルナク一月ノ畜ヲ所數百頭ニ及フ者少シトセズ

工業ハ南部各省ヲ以テ著名ナリトス就中廣東省ノ卓椅彫刻、器物、福建省ノ繡縫品、浙江省ノ機織品、江西省ノ陶器抄紙等其著名ナル者ナリ又河北即チ直隸、山東、山西、陝西、甘肅各省ハ工業頗ル衰微シ日用器具ト雖モ南部諸省ノ輸入ヲ仰グト云フ

第十一 輸出輸入

輸 入	千八百八十九年	千八百九十年	千八百九十一年	千八百九十二年
輸 出	千八百八十九年	千八百九十年	千八百九十一年	千八百九十二年
阿 片	二七、四二八、一五二	茶	二五、九八三、五〇〇	

前表掲ケル所ノ價額ハ外國貿易ノ總額ニアラズ右ノ外外國稅關ノ檢査ヲ經ズシテ支那船ヨリ輸出スル商品甚ダ多シ

○同其類別

木綿類商品	五二、七〇七、四三二	絹粗及精製	三八、二九二、一三〇
組製木綿類	一、一五七、〇〇一	砂	二、〇七三、四〇二
羊毛ノ商品類	四、七九四、二三〇	藥	二、〇五六、八五六
金 屬	七、一三〇、八六六	皮牛及水牛	四九五、〇六五
石 炭	二、〇〇七、六八五	紙	一、五七二、五二四
油、ケロシン油	五、〇四九、五五三	衣 服	一、五九二、九六九
海藻其他海產物	四、九五七、〇六〇	磁器及陶器	一、〇八四、〇〇八

第十二 支那各港船舶出入

千八百九十二年

英 吉 利	船 數	噸 數
支 那	一八、九七三	一九、三一六、八一五
獨 逸	一四、五三二	六、五六一、一九〇
日 本	二、〇一六	一、四六六、一三三
亞 米 利 加	七一九	六三〇、八六八
	一一一	六一、三二八

支那各港船舶出入

佛	一四四	二五二、九二〇
蘭		
西		
總計	三七、九二七	二九、四四〇、五七五

內		
蒸氣船	二八、九七四	二八、四二〇、一五六

第十三 鐵道

開業中ノ線路ハ開平ヨリ天津ニ至リ北古冶ヲ經テ灤州ニ至ル其延長三百七十二清里アリ又臺灣ニハ淺水鷓籠間ノ鐵道アリ延長二十哩アルト云フ

第十四 郵便

支那政府ノ郵便ハ陸軍ノ管轄ニ屬シ北京ニ驛遞部アリテ遞信局及ビ郵便事務ヲ管ス驛遞局ノ在ル處ハ十八省ノミニテ凡ソ八千局アリ此諸局ニ關スル特務ノ官吏ハ北京ニ在ル者僅々十六人ノミニ此他ハ地方廳ニ在リ郵便ハ支那ノ全地ニ及ボシテ局數殆ド二千四百アリ郵便事務ニハ收入ノ特別ナル資本ナシ其維持ノ經費ハ十五省及ビ滿洲ニテ百九十九萬二千八百兩ニ上ル政府郵便ノ外私設郵便アリ商業ノ用ニ供ス

第十五 電信

官用中ノ線路ハ北京保定府間、天津牛莊間、牛莊浦鹽斯德間、牛莊釜山間、牛莊旅順間、

天津上海間、天津芝罘間、上海漢口宜昌チエンキン間、上海吳淞間、上海寧波間、上海廣東間、廣東龍州間(東京界)廣東キウンチエウ間、廣東香港間ナリ而シテ支那電信中央局ハ上海ニアリ

○朝鮮(王國)

第一 王室

今王李熙千八百五十一年六月二十五日生ル六十四年二月四日位ニ即ケ

第二 政體

政體ハ君主擅治ニシテ政府ノ中樞ヲ内閣ト稱シ其下ニ内務外務度支軍務法務農商學務工務ノ衙門ヲ設ケテ政務ヲ分掌ス

○政府職員

總理大臣	金 宏 集	內務大臣	朴 泳 孝
外務大臣	金 允 植	度支大臣	魚 允 中
工務大臣	申 箕 善	農商務大臣	嚴 世 永
學務大臣	朴 定 陽	法務大臣	徐 光 範

朝鮮○王室○政體○政府職員

軍務大臣 糶 義 淵

第二 面積及人口

面積ハ二十一萬八千九百九十二方基(濟州島ヲ算入ス)
人口ハ八百萬乃至千六百萬ニシテ最近ノ統計ニ依レハ二百三十五萬六千二百六十七戸此
人員一千〇五十二萬八千九百三十七人内男五百三十一萬二千三百二十三 人女五百二十一
萬六千六百十四人ナリ

第四 財政

財政ハ公報ナキヲ以テ知ルニ由ナシ今日清韓要事便覽ニ掲ケタルモノヲ轉載セリ
海關稅ノ外内地各種ノ收稅法ハ錢品兩様ニシテ其調查頗ル難シ今ヤ稍ヤ信用スルニ足ル
モノヲ得タレハ左ニ歲入ノ合計ヲ示メサン

八道四都京各司都以上

錢二百八十六萬四千六十四兩七錢六分(兩ハ百文)米十六萬六千六百四十四石五斗五升五
合

内米三千四百六十五石ハ西北四都州倉會錄

田米三千百九十五石五斗

内田米千四百二十八石ハ西北四都州倉會錄

黃豆三萬九千百三十七石一斗〇五合

内黃豆一萬四石四斗ハ西北四都州倉會錄

木綿三十五萬二千四百四十二匹 麻布二萬九千九百六十一匹
千八百九十二年海關稅ノ收入ハ四百三萬八千四百十三弗ナリ

第五 宗教

朝鮮ニ於テ嚴密ノ儀式ヲ設ケテ祖先ヲ祭ルハ支那ト異ナルヲナシ他ノ宗教ニ至テハ之ヲ
下位ニ置キ京城ノ市内ニ殿堂ヲ建ツルヲ許サズ然レモ地方ノ丘陵上ニハ佛教及ヒ道教ノ
寺觀頗ル多シ朝鮮ノ上流社會ハ最モ儒教ヲ尊信シ支那ノ經典ヲ學フハ儒者及ヒ仕官希望
者ノ重ナル目的ナリ國民一般ノ信教ハ佛道及ビ儒教ナレドモ又舊教徒千四百人新教徒三
百人アリ

第六 陸軍

常備兵ハ約五千人ニシテ其他ニ騎兵五百人アリ

第七 農業

國中山岳多ク耕植ニ適スベキ所少ナシ沿海豐饒ノ地ニ産スル者ハ米、黍、麻、煙草及ヒ

宗教○陸軍○農業

輸出輸入○貿易○同其類別

諸種ノ莫實ナリトス

第八 輸出輸入

○貿易 (金弗)

輸 入	一八八八年	一八八九年	一八九〇年	一八九一年	一八九二年
輸 出	一八八八年	一八八九年	一八九〇年	一八九一年	一八九二年
	三〇四六、四四三	三、三二七、八一五	四、七二七、八三九	五、二五六、四六八	四、五九八、四八五
	八六七、〇五四	一、二二三、八四一	三、五五〇、四七八	三、三六六、三四四	二、四四三、七三九

○同其類別 (海關年報)

●輸入出重要品

輸 入 品	明治二十年	同二十一年	同二十二年
金 巾 各種反數	五〇六、八八二	四五四、九九二	四〇五、〇四四
寒冷紗 反 數	二八三、五四四	四六九、二二三	二九九、六五二
クツト 枚 數	三、二五八	三、一四七	二、六七三
石 油 罐 數	一六〇、八二四	二〇四、二七五	三九七、八三〇
米 百斤入袋數	六八一	二四、五六〇	九四、五五七
砂糖 百斤入袋數	一、三一五	一、五八二	一、八七七

石 炭 噸 數	一、四八六	三、七八二	三、二二九
燐 寸 夕 口 不	四四、六四七	八二、四〇六	一〇五、五〇九
陶磁器 個 數	一一、二五九	一八、一二七	三、二四一
輸 出 品	明治二十年	同二十一年	同二十二年
黃 豆 百斤入袋	三〇四、二九五	四四三、五四六	四四七、三四二
米 百斤入袋	六七、五八九	一六、〇六五	三四、五二七
雜 穀 百斤入袋	九二一	一一、九九八	三三、四五七
生 牛 頭 數		一、三九七	一、五二九
牛 皮 百 斤	二一、四六五	一四、九〇八	一六、〇二三
牛 骨 百 斤	六、七六六	一一、二一四	一九、一〇六

第九 各港船舶出入

千八百九十二年

船 種	船 數	噸 數
蒸 氣 船	五三八	三五八、七七一
帆 前 船	一三一	八、二七八

各港船舶出入

○郵便○電信○波斯王室○政體

一一四

支那船計

七二七

二三、四四八

第十 郵便

一、三八六

三九〇、四九七

視察官四十八局數四百七十八馬五千三百六十二頭アリ

第十一 電信

千八百八十八年ノ線路ハ濟物浦ヨリ漢城ムクテンテ天津ニ達スル線ト漢城ヨリコン
シユニニ達スル線コンシユニ及ビタイクヨリ釜山ニ達スル線ナリ

○波斯(王國)

第一 王室

今王ナースル、エツテ#ンハムハメッド王ノ長子ニシテ千八百三十一年七月十八日生レ千
八百四十八年十月二十日テヘランニ於テ即位式ヲ舉行セリ
太子ムザファール、エツテ#ンハ千八百五十三年三月二十五日生ル王子女各四人アリ

第二 政體

政體ノ要領ハ土耳其ニ似タリ國法ハ總テ回々教ノ經典「コーラン」ノ教理ニ基ツキ國王ナ
以テ教祖ノ代理者トスルガ故ニ國王ハ人民ヲシテ唯命是レ從ハシムルヲ得ルナリ行政ハ

國王ノ指揮ヲ仰ギ内閣之ヲ執行ス内閣ハ歐洲ノ制ニ倣ヒテ數省ニ分割セリ

第三 面積及人口

面積ハ凡ソ六十二萬八方哩アリ人口ハ千八百八十一年ノ調査ニヨレハ人口七百六十五萬
三千六百人ニシテ内都府ノ住民ハ一百九十六萬三千八百八十八人村落地方ノ住民ハ三百七十八
萬人他ノ一百九十萬九千八百八十八人ハ水草ヲ逐テ轉移スル人民ナリ

第四 大都府

テヘラン人口二十一萬タウリス人口十八萬イスマハン、メシエド人口各六萬アリ

第五 財政

年次

歲

歲

千八百八十九年

五四、四八七、六三〇

五〇、一〇〇、〇〇〇

第六 宗教教育

波斯ノ人民ハ過半回々教ヲ信奉ス異教人ハ大凡七萬四千人ニ過ギズ回々教ハ重ニ「シー
ア」派ニシテ土耳其人ノ信奉スル「サンニ」派トハ稍其教旨等ヲ異ニス教育ハ他ノ事物ニ
比シテ進歩セリ許多ノ學校ハ宗教、波斯文學、アラビヤ文學及ビ他ノ科學ヲ教授シ校費
ハ公費ナリ又許多ノ小學校アリ其他諸藝學校ヲ設ケ歐洲人ヲ雇聘シテ教員ト爲シ以テ泰

面積及人口○大都府○財政○宗教教育

一一五

西ノ語學及ビ科學ヲ教授ス又別ニ兵學校アリ

第七 陸海軍

○陸軍

陸軍大臣ノ報告ニヨレハ波斯軍隊ハ總計十萬五千五百人ニシテ内砲兵五千人(二十中隊)歩兵五萬四千七百人(七十八大隊)正則及不規則騎兵二萬五千二百人及民兵七千二百人(二十四大隊)ナリトス然レモ其半ハ用ヲナサハルモノニシテ常備兵ハ實ニ二萬四千五百人ヲ超過スルコトナシ而シテ其用ヲナスヘキモノハ歩兵三萬五千四百人不規則騎兵ニシテ多少訓練アルモノ三千三百人未タ訓練ヲ經サル徵兵一萬二千一百三十人砲兵二千五百人砲兵(駱駝ヲ用フルモノ)九十人工兵一百人計五萬三千二十人ナリ

○海軍

海軍ハ軍艦二艘ヨリ成ル一ハ六百噸四百五十馬力ノ暗輪汽船ニシテ三「インチ」砲四個ヲ具フ他ノ一ハ三十馬力ノ川蒸汽船ナリ

第八 農工業及輸出入

波斯ハ小麥、大麥、米、菓物、ゴムノ外年々絹ヲ産シ其額六十萬六千一百「ポンド」ニ達シ其三分ノ二ハ外國輸出ス阿片ハ一千八百九十一年藥用及喫烟用トシテ歐洲及支那二百

五十「ポンド」入り一萬函ヲ出セリ烟草年々五千五百噸綿九百九十三萬四千四百「ポンド」羊毛七百七十一萬四千「ポント」ヲ輸出ス波斯毛氈ハ其種類三十有餘皆手工ニシテ千八百八十八年ノ輸出額十四萬磅ニ達セリト云フ

第九 鐵道

テヘランヨリシヤ、アブドール、アジムニ達スル者六哩及メエマダバッドヨリバアフラシニニ至ル十二哩アリ但後者ハ未タ完通セス

第十 郵便

局數九十五アリテ一週二回歐洲來往便一週一回印度便アリ

第十一 電信

局數九十九線長約四千五百五十哩延長約六千七百哩ナリ

○暹羅(王國)

第一 王室

今王クラロンコルン第一世ハ先王マハ、モンカットノ長子ニシテ千八百五十三年九月二十日生ル千八百六十八年十月一日先王殂ス依テ位ニ即ク

第二 政體

鐵道○郵便○電信○暹羅王室○政體

千八百七十四年五月八日ノ法律ニ依リ立法權ハ國王及ビ内閣員之ヲ執行ス但シ此内閣員ハ陸海軍、外務、宮内、大藏等ノ諸大臣ナリ又參議院アリ勅任ノ議官十人乃至二十人並ニ王族六人ヲ以テ之ヲ組織ス

第三 面積及人口

總面積ハ今ハ佛領ト認メラル、メーゴン河トアンナム丘トノ間ノ土地ヲ合算シ約三十萬方哩ニシテ馬來半島ハ約六萬方哩アリ人口凡ソ五百萬ノ計算ナリ

第四 都府

バンコックハ人口凡二十萬アリ

第五 財政

當今ノ計算ニ據レバ國庫歲入寧ロ國王ノ歲入ト云フベキ者ハ二百萬磅ニテ國債ハナシ近時香港上海銀行支店ニ紙幣發行ヲ許セリ歲出ハ歲入ヲ超過セス

第六 宗教教育

國人ノ專ラ信奉スル宗教ハ佛教トス近年ニ至リ稍泰西ノ文明ヲ學ビ英佛獨ノ三國ニ留學生徒數名ヲ派遣セリ

第七 陸海軍

○陸軍

常備兵一萬二千人アリ歐洲士官ノ訓練ヲ受ケ近年ニ至リテ著シク其數ヲ増シ技藝ノ發達器械ノ精巧ヲ致セリ政府ハ大砲若干小銃及其附屬品八萬ヲ有スト云フ

○海軍

一千噸大砲八門螺旋小軍艦二アリ一千八百九十二年二千四百噸ノ巡洋艦一ヲ増加セリ

第八 農工業

主ナル産物ハ米ニシテ一千八百九十三年ニハ五十萬乃至七十萬噸ニ達セリ(國民ノ食料及輸出品ノ主ナルモノナリ其他鹽、乾魚、家畜、胡麻、胡椒ヲ産シ大麻、烟草、綿、珈琲モ生長スレ此等ハ單ニ國內ノ用ニ供スルノミ菓物ノ産出ハ多クシテ「デューアン」、山竹果、芒果等アリ「ティク」樹、寶石、金、錫、石炭等ヲ産ス

第九 輸出輸入

輸 入	一千八百九十一年	一千八百九十二年
木 綿 類	三一九、五八一	二九二、六〇一
鐵 器	三三、七五二	八三、七四八
ケロシン 油	六一、二三九	五〇、〇〇一

農工業○輸出輸入

絹類	五、八五九	四八、九七七
寶玉	四五、二三〇	四七、〇五七
綿糸	五七、一五四	四一、九七八
阿片	八八、〇〇〇	三五、四〇六
陶器	四五、二三四	三五、一九七
布	二六、四二六	二九、三一八
砂	三六、三二七	四八、六八六
輸	一千八百九十一年	一千八百九十二年
米	一、〇八三、三七三	九五六、〇七五
「テツク」樹	七五、二〇七	六二、七九三
胡椒	七九、五九四	五三、四八二
鹽魚	五一、九二四	三七、四九四
材木	三三、七二〇	三一、八二五
牡牛	二六、二三一	二七、三九〇
テイル種子	五、四九九	二三、一〇八

淡菜	九、四〇九	二二、四〇七
獸草	二六、九三九	二〇、〇〇五
乾魚	一四、二九九	一一、〇五四

第十 船舶出入

一千八百九十二年バンコック港出帆ノ船舶二百八十四此噸數二十萬一千百四十五噸ニシテ入港ノ船舶ハ二百九十二此噸數二十萬九千七百四十五噸ナリ

第十一 鐵道

バンコックヨリパクナムニ至ル十四哩間ノ鐵道ハ一千八百九十三年開カレタリ其他ノ鐵道ハ目下工事或ハ測量ニ着手セリ又バンコックニハ電氣鐵道アリ

第十二 電信

電線ノ延長一千七百八十哩アリバンコックハ今チヤンマイ、ナコン、ランパン、コラト、ノンカイ、セソホン、チャンタアン、バンタフアント聯絡ス其他モールメーン、タヴ、オイ、柴棍トノ連接モアリ

第十三 郵便

バンコックニ郵便業務アリ一千八百八十五年暹羅ハ萬國郵便同盟ニ加入セリ目下局數九

船舶出入○鐵道○電信○郵便

十八(一八九〇年)其内國便ノ數十八萬九千九百九十三、外國便二十一萬九千七百七十二達
セリ

○歐羅巴洲

○露西亞(帝國)

第一 帝室

露西亞皇帝ニコラス二世ハ先帝アレキサンドル三世ノ長子ニシテ千八百六十八年五月六日ニ生レ千八百九十四年位ニ即ク

第二 政體

露西亞帝國ハ無限世襲君主政治ニシテ立法、行政、司法ノ全權悉ク皇帝ノ手ニアリ帝意即チ法ナリ帝國ノ行政ヲ四大院ニ分任ス

第一院ヲ參議院トス議長一人ヲ置キ議官定員ナシ皆是レ皇帝ノ勅任スルモノナリ參議院ヲ立法部、民政教務部及ヒ財政部ノ三局ニ分テリ而シテ其主務ハ各大臣ノ提出セル法律案ヲ調査シ其年度ニ係ル豫算經費ヲ討議スルニ在リ然レモ法律ヲ變更修正スルノ權ナク單ニ立法ノ事ニ就テ其意見ヲ陳述スルニ過ギザルノミ

第二院ヲ元老院ト云フ半ハ議政中ハ行政ノ性質アリ法律ハ本院ヨリ發布スルモノトス又本院ハ帝國ノ大審院ニシテ終結ノ裁判ヲナスノ權アリ議官ハ概テ高位高官ノ人ニシテ皇帝ヲ代表スル大法官アリテ其署名アルニ非レバ一切無効ナリトス又本院ハ施政ノ得失ヲ

歐羅巴洲○露西亞帝室○政體

察シテ皇帝ヲ諫争スルノ權アリ

第三院ヲ教務院ト云フ帝國ノ教務ヲ監督ス其議官ハ高僧等ヨリ成ル本院ノ議決ハ一切皇帝ノ名ヲ以テ之ヲ行フ皇帝ノ批准ナキモノハ効力ナキモノトス

第四院ヲ内閣ト云フ左ノ諸大臣ナリ

内閣員ハ宮内、外務、陸軍、海軍、内務、文部、大藏、司法、官領、遞信ノ諸大臣ナリ
芬蘭大公國ハ露國ノ版圖ナレトモ皇帝ノ特許ニ因テ國會ヲ設ケテ諸法律案ヲ議決スルト雖モ禁止權ハ露帝ノ掌握スル所ナリ若シ憲法ヲ改正シ新ニ稅ヲ課スル場合ニ於テハ國會ノ合同協賛ヲ得ルヲ要ス凡ソ諸法律ノ法案ハ聖彼得堡ニ駐在セル芬蘭事務員之ヲ起草ス此委員ハ芬蘭國務尙書及ビ勅任官四名ヨリ成ル又元老院アリテ司法大藏ノ兩省ニ分チ芬蘭國一切ノ行政事務ヲ施行ス軍事ハ露國陸軍大臣、外交事務ハ露國掌璽官之ヲ掌ル

第三 面積及人口

一千八百九十年

(イ) 歐洲露西亞 (波蘭共)

地方	面積方哩	人口
アルカンジェル	三三二、五〇五	三五四、四二一
アストラカン	九一、三二七	五一五、二〇〇

ベツサラビヤ	一七、六一九	一、六八八、六〇〇
クールランド	一〇、五三五	六九三、三〇〇
ドン軍地方	六一、八八六	二、〇四五、三〇〇
エストニヤ	七、八一八	四〇一、〇〇〇
グロドノ	一四、九三一	一、五一〇、〇二八
キーフ	一九、六九一	三、一三八、九〇〇
カルガ	一一、九四二	一、二四二、九〇〇
カサン	二四、六〇一	二、二〇八、九一七
カルコ	二一、〇四一	二、五三七、三三九
ケルソン	二七、五二三	二、二五〇、一〇〇
キユルスク	一七、九三七	二、六六六、五七三
チエルニゴウ	二〇、二三三	二、二六五、二〇〇
コストロマ	三三、七〇二	一、三八一、七〇〇
エカテリノスラー	二六、一四八	一、九四八、四〇〇
コーノ	一五、六九二	一、五八七、二〇〇

面積及人口

面積及人口

リヴオニヤ	一八、一五八	一、二五六、二〇〇
ロムザ	四、六六七	六〇八、六八三
ルプリン	六、四九九	九七九、七〇〇
ミンスク	三五、二九三	一、八三〇、四四五
モヒリウー	一八、五五一	一、三八七、〇〇〇
モスコー	一二、八五九	二、二四〇、九〇〇
ニジニト、ノヴゴロツト	一九、七九七	一、五六九、五〇〇
ノヴゴロツト	四七、二三六	一、二五四、九〇〇
オロ子ツツ	五七、四三九	三五二、六〇〇
カレール	一八、〇四二	二、一四〇、一三〇
カレンホルグ	七三、八一六	一、三七二、八〇〇
ウフハ	四七、一一二	二、〇三九、三〇〇
ペンサ	一四、九九七	一、五九六、五〇〇
ベルム	一一八、二一一	二、八一三、三〇〇
ビヨトルコー	四、七二九	一、〇九二、二八二

プロック	四、二〇〇	七〇〇、八四八
ポドリヤ	一六、二二四	二、六〇四、八〇〇
ポルタヴハ	一九、二六五	二、八九八、六〇〇
プスコウ	一七、〇六九	一、〇一九、〇〇〇
ラドム	四、七六九	七八二、二七四
リヤザン	一六、二五五	一、九二八、六〇〇
聖彼得堡	二〇、七六〇	一、六八八、二〇〇
サマラ	五八、三三二	二、六六五、三〇〇
サラトウ	三二、六二四	二、四二七、六〇〇
シエドルス	五、五三五	六七一、五九八
シムビルスク	一九、一一〇	一、六五五、五〇〇
スモレンスク	二二、六三八	一、四一二、一六二
スワルキー	四、八四六	六五六、九三二
タムボウ	二五、七一〇	二、八五〇、八〇〇
トリード	二四、五三九	一、一六七、六〇〇

面積及人口

面積及人口

カリツス	四、三九二	八三七、三一七
ツーラ	一一、九五四	一、四九二、三〇〇
ツヴェール	二五、二二五	一、七九一、〇〇〇
キエルス	三、八九七	六九二、三二八
ヴンアツカ	五九、一一七	三、〇二〇、七〇〇
ヴンルナ	一六、四二一	一、三六七、一〇〇
ヴンテプスク	一七、四四〇	一、三四一、一〇〇
ヴラジミール	一八、八六四	一、四五六、六〇〇
ヴォリニヤ	二七、七四三	二、四〇七、八〇〇
ヴォロクダ	一五五、四九八	一、二七二、一〇〇
ヴォロ子一ツ	二五、四四三	二、七五五、四〇〇
ヤロスラウ(一八九一年)	一三、七五一	一、一二六、八九一
カルソウ	五、六二三	一、四六五、一三一
ブリーヴ海	一四、四七八	
總計	一、九五二、二四九	九七、一五一、七八九

(ロ) 芬蘭大公國 下條ニ別載ス
(ハ) 高加索

地	方	面積	方哩	人口
スタヴロポール地方		三三、三九八		六七二、三五八
テレク州(一八九一年)		二六、八二二		七七九、二七一
クーバン州(一八九九年)		三九、二七七		一、四〇八、七一八
一 北高加索計		八九、四九七		二、八六〇、二四七
ダゲスタン州(一八九〇年)		一一、三三二		六〇九、三三〇
ザカタリ一部(一八九〇年)		一、五四一		七四、四四九
チフリス地方(一八八六年)		一五、三〇六		八七五、一八一
クイタイス地方(一八八六―九〇年)		一三、九六八		九九八、六二〇
エリツサベトポール地方(一八九〇年)		一六、七一二		七九三、九六九
バクー地方(一八八六―八九九年)		一五、〇九五		七七七、五五六
エリヴァン地方(一八八六年)		一〇、〇七五		六七〇、四〇〇
カルス州(一八九〇年)		七、三〇八		二二二、〇〇〇

面積及人口

二	トランスカウカス計	九一、三四六	五、〇一一、五五五
總計		一八〇、八四三	七、八七一、八〇二
(ニ) 要伯利亞			
地	方	面積方哩	人口
	トランスバイカリヤ	二三六、八六八	五四五、三三八
	イルクツク州	二八七、〇六一	四二一、一八七
	ヤクツク州(一八九二年)	一、五三三、三九七	二八〇、二〇〇
	エニセイスク地方	九八七、一八六	四五八、五七二
	(イ) 東部地方計	三、〇四四、五二二	一、七〇五、三九七
	トムスク地方(一八八九年)	三三二、一五九	一、二九九、七二九
	トホルスク地方(一八八九年)	五三九、〇五九	一、三一三、四〇〇
	(ロ) 西部地方計	八七〇、八一八	一、六二三、一二六
(ホ) 中央亞細亞			
地	方	面積方哩	人口
	ウラルスク州(一八八九年)	一三九、一六八	五五九、五五二

ツールガイ州(一八八九年)	一七六、二一九	三六四、六六〇
アグモリンスク州(一八八九年)	二二九、六〇九	六〇〇、一八〇
セミパラチヌスク州	一八四、六三一	五七六、五七八
アラル湖	二六、一六六	
(イ) キルギス曠原計	七五五、六二七	二、〇〇〇、九七〇
サマルカンド州	二六、六二七	六八〇、一三五
セミレンチエンスク州	一五二、二八〇	六七一、八七八
フェルガナ州	三五、六五四	七七五、六〇〇
シルダリヤ州	一九四、八五三	一、二一四、三〇〇
(ロ) 土耳其斯坦地方計	四〇九、四一四	三、三四一、九一三
中央亞細亞總計	一、二六五、一六七	五、三四二、八八三
アムル(一八九一年)	一七二、八四八	八七、七〇五
グリモルスカヤ	七一五、九八二	一〇二、七八六
(ハ) アムル地方計(約)	八八八、八三〇	一九〇、四九一
サカリン(一八九〇年)	二九、三三六	一九、六四四

總計

第四 人口十萬以上都府

四、八三三、四九六

四、五三八、五六一

彼聖得堡

一、〇三五、四三九

モスコ

八二二、三九七

ザハルソ

四九〇、四一七

オデッサ

三三二、六九〇

カルコ

一九四、三八五

キーウ

一八三、六四〇

リガ

一八〇、二七八

チプリス

一四五、七三一

カザン

一三四、三五九

ロツヅ

一三六、〇九一

サラト

一二三、四一〇

タケセント

一〇三、〇〇〇

キチニユ

一一七、一〇八

ヴヰルナ

一〇九、五二六

アストラカン

一〇四、八五六

バク

一〇三、〇〇〇

第五 政財

歳入出

歳

入

歳

出

千八百九十一年

千八百九十二年

千八百九十一年

千八百九十二年

八九一、二六三、〇〇〇

九七〇、一六四、〇〇〇

八七五、三四九、〇〇〇

九一〇、六八四、〇〇〇

第六 國債

千八百八十八年一月一日
露西亞及波蘭公債總計

硬貨「ルーブル」

三九一、五〇五、九六九

証券「ルーブル」

三、一〇四、八九九、七六四

和蘭「フロリン」

六六、〇六八、〇〇〇

「ポンド」

一一二、二七一、七二〇

「フランク」

五五二、〇八一、〇〇〇

第七 宗教々育

國教ハ天主教(希臘教)ト稱シ教務院ヲ設ケ皇帝ハ宗教統御ノ權ヲ有シ大教長以下ノ僧職ヲ任免スト雖モ宗教上ノ爭議ヲ裁決スルノ權ナク總テ教務院ノ決議ニ從フ千八百八十五年ニ國教ノ寺院六百七十ヶ所教會四萬三千二百四十七禮拜堂一萬九千七百八十四僧徒九萬二千五百六十五僧尼院六百八十四僧尼等三萬八百四十四人アリ
教育ハ全國ヲ十四學區ニ分チ學校ハ概シ文部大臣ノ管轄ニ屬セリ千八百九十三年經費年報ニヨレハ總計四千三百八十八萬四千五百三十四「ルーブル」ノ經費ナリト云フ芬蘭ハ別ニ一大學ヲ有シ學生四千八アリ

高等學校	中等學校	初等學校	高等及中等學校
數	男 女	數	數
三一	六一八	四六、八八〇	一千八百九十一年乃至九十二年ノ現在數ニシテ初等學校ハ一千八百八十七年ノ現在數共ニ精確ナラストス
教師			
學生々徒			
一九、五六一	一三四、九五六	一、八三四、八三五	
	七八、〇八五		

第八 陸軍

平時現員 (千八百九十一年)

管轄	將校	兵卒	軍馬
歐羅巴露西亞	三〇五七四	七五〇九四四	一三九九六六
東部西比利亞	七七三	二四九九三	三二一八
西部西比利亞	五五七	一〇七九九	四四〇三
トルキスタン	一一八〇	三八四六八	五九七一
芬蘭大公國	三四五	九九三九	九二〇

合

計

三三五二九

八三五一四三

一五五四七八

第九 海軍

艦隊人員 (千八百九十二年)

將官百十三人 士官千三百五十八人 水先案内ノ士官三百六人 砲兵士官百人 造船士官百十人
機關士四百十八人 海港技術士官四十二人 鎮守府士官百八十八人 文官四百七十八人 軍醫二百七十四人 合計三千三百七十九人ニシテ乘組人員二萬六千人ナリ

艦隊 (千八百八十八年)

艦船種別	艦船數	大砲	噸	數	名稱馬力
一 パルチック海	三三	三六〇	一一二、五〇〇	一〇、九一〇	
甲鐵艦	三七	三三九	五九、五七〇	一四、八三〇	
兵器ヲ裝フタル漁船	五六	—	一六、二二〇	四、〇三五	
漁船	八	—	二、六一〇	—	
風帆船	九五	—	二、三二六	三、八六〇	
水雷艇	—	—	—	—	
二 黒海	—	—	—	—	

甲鐵艦	七	六一	三七、二四一	五、七八〇
兵器ヲ装フタル漁船	二七	一〇五	二五、七三二	三、四四〇
兵器ナキ漁船	五九	—	六、五二〇	二、一〇〇
水雷艇	一六	—	五二二	七六〇
三 北高海	—	—	—	—
兵器ヲ装フタル漁船	一二	二六	四、二一五	八四五
兵器ナキ漁船	四	—	七二〇	—
四 アラール湖 漁船	六	一三	七五九	二二七
兵器ヲ装フタル漁船	八	四二	三、七八三	八六〇
兵器ナキ漁船	一三	—	五三七	二四七
五 西伯利亞 水雷艇	六	—	一四四	二四〇
計	三八六	九三六	二八三、三七九	四八、一三四
總計	—	—	—	—

第十 農工業及鑛業

地種別 (一「エーカー」ハ四反〇八) (千八百九十二年)
 道路其他諸種ノ耕作ニ適セサル土地

國	有	四一〇、八〇一、八六七 ^{エーカー}	一三九、三九七、四九八 ^{エーカー}
皇	族	一九、八九〇、八三五	—
農	夫	三七三、三一〇、四九六	三五、五四五、七三五
個	人	二九四、五〇四、五八二	三五、一一五、五五七
合	計	一、〇九八、五〇七、七八〇	二一〇、〇五八、七七〇

千八百九十二年ノ報告ニ據レバ歐洲魯西亞及波蘭ニテハ小麥四千五百一十一萬九千「クォーター」(一「クォーター」ハ一石六斗一升強)裸麥七千八百六十萬「クォーター」燕麥五千八百八萬七千「クォーター」大麥二千二百七十三萬「クォーター」ノ收穫アリ

千八百九十一年露西亞西伯利亞及ヒ高加索ニ於テ烟草作付地十二萬四千二百二十一「エーカー」收穫高百六萬一千三百「ハンドレッドウエート」(一「ハンドレッドウエート」ハ十三貫五百二十三匁強)ニシテ葡萄園ハ殆ト千六百萬「エーカー」其產出高四百五十五萬「ガロン」(一「ガロン」ハ二升五合強)ナリ又千八百八十八年山林ヲ保護センガ爲メ歐羅巴露西亞ノ各州ニ特別委員ヲ設置シタリ

千八百八十八年歐羅巴露西亞ノ家畜(波蘭ヲ除ク)ハ左ノ如シ

馬 一九、六三三、三四〇

羊

其他有角家畜

全年波蘭ノ家畜ハ馬百二十萬四千三百四十頭ニシテ有角家畜ハ三百〇一萬三千四百頭ア

千八百八十五年歐羅巴露西亞(波蘭及ヒ芬蘭ヲ除ク)ニテ製造所鑛業及ヒ工業所ノ數ハ六

萬二千八百一其使用セル勞力者九十九萬四千七百八十七人其產出額十一億二千四百萬二

百七十「ルーブル」ナリ波蘭ニテハ製造所二萬三百八十一勞力者十三萬九千六百五十八人

出額一億八千五百八十二萬二千二百「ルーブル」ナリ千八百九十一年トランスコーカシア

ニテハ小製造所九千三百三十三アリテ勞力者四萬二百八十四人ヲ使用シ主トシテ絹四千

萬三千九百「ルーブル」ヲ產出スレモ芬蘭ニテハ製造所六千四百九十六アリテ產出額六百

六十八萬千七百「ルーブル」ニ過キス

千八百九十年 千八百九十一年 千八百九十二年

プラチナ

千八百九十年 千八百九十一年 千八百九十二年
四、一八四 四、三五七
三九、三九四 三九、〇一六 四二、九九六
一三、七七六

銀

三九、三九四 三九、〇一六 四二、九九六
一三、七七六

鉛

八二五 三、六九七 五、〇九四

亞鉛

五、三一八 四、六八一 四、一九九

銅

八七六 八七一 九九五

生鐵

四二一 三一九

鐵

三六五 二五九

鋼鐵

五、九三三 六、一二六 六、八〇〇

石炭

三、八五七 四、三〇一 四、四九〇

石油

一、三六一 一、四〇五

第十一 輸入出總額

年次	輸入				輸出			
	歐羅巴	芬蘭	亞細亞	合計	歐羅巴	芬蘭	亞細亞	合計
一八九〇	三六一,四〇二	一三三,八六六	四一,二八一	四八六,〇六九	一六〇,四五〇	一六七,二一五	七七,八七一	三〇五,〇三七
一八九一	三三六,二九七	一二七,七九三	三九,四五六	三九四,五四六	一六三,三九六	七七,二四一	七三,〇九三	三〇九,七三七
一八九二	三四六,四七五	一一九,九四九	四五,四五六	四〇三,八八〇	三九,六三九	二一,〇九九	六八,六七一	四八,九四一
								輸出入總額

輸出入總額

一三九

○ 輸入出類別

(一) 歐羅巴露西亞及北高加索輸入出(芬蘭ヲ含ム)

穀類麩粉等	一千八百九十一年	一千八百九十二年
魚類及鹽漬ノ魚卵	三五二、五八三、〇〇〇	一六四、一五八、五〇八
牛酪及卵	三、一六八、〇〇〇	四、〇二一、三七三
酒精及杜松子酒	一七、五二六、〇〇〇	一五、五七一、七三七
諸食品	五、六二九、〇〇〇	一、六五三、九〇〇
食料品總計	三四、六三三、〇〇〇	一三、八四二、八四一
木材	四一三、五三九、〇〇〇	一九九、二四八、三五九
未製礦物	四三、六五八、〇〇〇	四九、〇一八、〇〇〇
油質穀粒	二、〇三四、〇〇〇	二、四六四、〇〇〇
亞麻	三三、六八九、〇〇〇	二三、〇七一、〇〇〇
大麻	五二、五七三、〇〇〇	五六、一一四、〇〇〇
牛羊脂	一八、〇一二、〇〇〇	一五、二〇三、〇〇〇
	九一四、〇〇〇	七二七、〇〇〇

羽毛	一一、九二六、〇〇〇	一〇、三六五、〇〇〇
羊毛	一五、六一二、〇〇〇	一一、八三〇、〇〇〇
毛皮	五、九二一、〇〇〇	四、四三一、〇〇〇
石油類	三〇、一六五、〇〇〇	二六、八一二、〇〇〇
雜	七七、三九七、〇〇〇	三三、五六六、〇〇〇
未製及半製品總計	二四五、九〇一、〇〇〇	二三二、五九九、〇〇〇

全上輸入

米	四五七、〇〇〇	七六三、〇〇〇
其他穀類麩粉	一、一六六、〇〇〇	九四七、〇〇〇
蔬菜菓物	五、二三四、〇〇〇	五、五八九、〇〇〇
魚類	九、二二、〇〇〇	一一、六四八、〇〇〇
茶	一七、八八九、〇〇〇	一四、〇三一、〇〇〇
珈非	五、四三五、〇〇〇	六、二〇九、〇〇〇
烟草	二、一一五、〇〇〇	二、五五八、〇〇〇
酒精及飲料	九、二五八、〇〇〇	八、四一〇、〇〇〇

輸入出總額

一四二

未製木綿	七〇、七二七、〇〇〇	八四、六〇〇、〇〇〇
木綿糸及綿	五、二六一、〇〇〇	三、九五四、〇〇〇
毛糸及未製羊毛	一八、三六一、〇〇〇	八、六六九、〇〇〇
絹糸及未製絹	八、二三八、〇〇〇	一一、五七一、〇〇〇
未製黃麻	一、七七三、〇〇〇	一、一三一、〇〇〇
革	五、八五五、〇〇〇	五、六六八、〇〇〇
油、椰子實、棕櫚、グリシリン	一、四六九、〇〇〇	八四二、〇〇〇
顏料	一一、九七一、〇〇〇	一一、九六四、〇〇〇
化學材料	一一、六九九、〇〇〇	一三、二九五、〇〇〇
油、阿列布等	五、七四八、〇〇〇	五、一七九、〇〇〇
石炭類	一一、〇六九、〇〇〇	一一、〇五四、〇〇〇
未製鐵物	二八、一一六、〇〇〇	三三、八一七、〇〇〇
鐵板	二、九〇七、〇〇〇	三、二〇五、〇〇〇
木綿商品	二、六二四、〇〇〇	二、三〇七、〇〇〇
其他織物類	六、七九七、〇〇〇	五、二八〇、〇〇〇

鐵及鋼鐵商品
機械

一三、四三五、〇〇〇
二一、五八六、〇〇〇

一一、五六三、〇〇〇
二四、七五二、〇〇〇

(二) 亞細亞露西亞輸出入

品目	千八百九十一年		千八百九十二年	
	輸入	輸出	輸入	輸出
茶	一四、三七九	一〇〇	一八、七八三	二二
織物	二、〇九四	二、四七五	二、八四一	二、〇五九
紡績用物品	二、八六〇	五、六七八	二、八九七	七、一八三
皮革、毛皮	一、五一四	一、一〇七	一、五二二	一、一〇七
菓實、蔬菜	二、九四四	一、六四	一、〇六六	一一三
穀類	二、六八八	二四、四二四	三、〇一八	一七、〇一九
其他商品	一三、〇一七	四三、三八三	一五、三三九	四一、一六九
貴金屬	五、三七七	五、七七四	三、〇一五	四、三一六
總計	四四、八三三	八三、〇一五	四八、四七一	七二、九八八

輸入出總額

一四三

(三) 通過貿易

千八百九十一年ハ二百十三億〇六百萬「ルーブル」ニシテ千八百九十二年ハ百八十四億五千四百萬「ルーブル」ナリ

第十二 商船

千八百九十一年ノ調査ニ據レハ汽船三百十三艘ニシテ十八萬噸風帆二千百五艘ニシテ三十六萬五千六百二十噸ナリ

第十三 鐵道

千八百九十一年開業中ノ線路ハ一萬八千四百四十一哩ナリ但シ芬蘭及ビトランスカスピヤンノ鐵道ヲ算入セズ

第十四 郵便

千八百九十一年ノ局數ハ六千五百五十七ニシテ郵便物ノ數ハ左ノ如シ
通常ノ書狀及端書 二一七、九八〇、〇〇〇
貨幣入書狀 一三、四六二、〇〇〇
定時刊行物及書籍 一五二、六九〇、〇〇〇

第十五 電信

千八百九十一年一月一日露西亞國有電信線ノ線長八萬八千二百八十哩延長十七萬二千三百六十哩局數三千七百九十六アリ電話線ノ長千三百七十六哩ニ達セリ
千八百九十年郵便電信ノ收入三千九十二萬五千九百三「ルーブル」ニシテ其支出ハ二千五百二十一萬九千六百十九「ルーブル」ナリ

第十六 芬蘭

面積及人口 (一千八百九十三年)

地方	面積 (方哩)	人口 (千八百九十三年十二月三十一日人口合計)
ニールラント	四、五八六	一三九、四五六
アボ、アエル子ボルグ	九、三三五	三九五、四七四
タザハステウールス	八、三三四	二五七、八五一
ヴンボルグ	一六、六二七	三五一、六〇〇
セント、ミツチエル	八、八一九	一八〇、九二〇
グオピカ	一六、四九九	二九〇、六五四

又	一六〇、八四	四一七、一九二
ウ	六三、九七一	二四六、九九三
レ	一四四、二五五	二三八〇、一四〇
ア		
ホ		
ル		
カ		
計		
總		

第十七 財政

千八百九十二年ノ豫算ニ據レハ歲入出何レモ五千九百九十萬八千八百七十五「マルク」ニシテ國債ハ全年一月一日七千七百七十三萬六千八百〇一「マルク」内四百十五萬二百「マルク」ハ内國債ナリ

第十八 商船

千八百九十二年一月一日風帆船千七百一十一噸數二十二萬五千六百三十九噸船三百八十六噸數二萬五千七百四十三馬力合計九千二百九十一總計船數二千九十七噸數二十五萬三千八百八十二ナリ

第十九 鐵道

千八百九十一年十二月三十一日開業中ノ者千九百三十基内三十三基ヲ除クノ外皆國有ナリ

第二十 郵便

千八百九十年局數四百二十一書狀及ヒ端書等九百三十七萬九千七百四十五書留及小包郵便物六十一萬九千九百五十四定時刊行物七百五十七萬六千四百四十八收入百五十四萬七千五百二十九「マルク」支出百九萬六千四百三十六「マルク」ナリ

○ 獨逸 (帝國)

第一 帝室

今帝(兼普魯士王)ウヰルヘルム第二世ハ千八百五十九年一月二十七日生ル千八百八十八年六月十五日即位

皇太子フリードリヒ、ウヰルヘルムハ今帝ノ長子ニシテ千八百八十二年五月六日生ル

第二 政體

獨逸帝國ノ憲法ハ千八百七十一年四月十六日ニ制定シ獨逸諸州ハ國家ヲ保護シ人民ノ安全幸福ヲ謀ランガ爲メ同盟シテ永世渝ラザルノ聯邦ト爲リ以テ一帝國ヲ創立セリ而シテ帝國ノ政務軍事ハ一切獨逸帝ノ尊號ヲ得タル普魯士王ニ委任セリ憲法第十一條ニ據ルニ獨逸帝ハ國際上ニテ帝國ヲ代表シ防戰ノ場合ニハ之ヲ布告シ和親ノ約ヲ結ビ外國ト條約ヲ締結シ全權公使ヲ任命シ及ビ各國公使ヲ待遇スルノ權アリ但シ攻戰ヲ布告スル場合ニ

ハ聯邦議會ノ協賛ヲ得ルヲ要ス
 帝國ノ立法事務ヲ以テ聯邦議會及ビ代議院ニ委任ス聯邦議會ハ各聯邦ヲ代表シ代議院ハ
 國民ヲ代表ス聯邦議會ノ議員ハ五十八人ニシテ一會期ヲ任期トシ聯邦諸州ノ政府之ヲ任
 命ス代議院ノ議員ハ三百九十七人ニシテ一般投票法ニ依リ人民ヨリ選舉シ三ヶ年ヲ任期
 トス千八百八十八年三月十九日法律ヲ發シテ議院ノ期限ヲ定メテ五ヶ年トナシ現行期限
 (千八百八十七年ヨリ九十年迄)後ヨリ之ヲ實施スルモノトセリ今獨逸聯邦諸州ヨリ聯邦
 議會及ビ代議院ニ出ス議員ノ割合ヲ舉ゲレバ左ノ如シ

聯邦	及	都	府	聯邦議會	代議院
普魯士	威耳	巴	瓦	七	一三六
撒遜	敦堡	比	瓦	六	四八
比	命	撒	瓦	四	一七
撒遜	マ	比	瓦	四	一三
ア	ン	比	瓦	二	三
ハ	ル	比	瓦	一	二
ト	公	比	瓦	一	二
公	國	比	瓦	一	二

撒遜	コ	バ	バ	一	二
巴	丁	大	公	三	一四
メ	ク	レン	ブル	二	六
ハ	ッ	セ	ン	三	九
阿	丁	堡	大	一	三
撒	遜	ワ	イ	一	三
メ	ク	レン	ブル	一	三
シ	ヤ	ウ	ム	一	一
ロ	イ	ス	ス	一	一
漢	堡	ス	ス	一	一
リ	ユ	ベ	ッ	一	三
撒	遜	ア	ル	一	一
ワ	ル	デ	ッ	一	一
リ	ッ	ツ	ク	一	一
シ	ユ	ワ	ル	一	一
ツ	プ	ル	グ	一	一
ル	ド	ル	ス	一	一
タ	ツ	ト	侯	一	一
ト	侯	國		一	一

シユアルツブルク、ゾンデルスハウゼン侯國
 ロイス新侯國
 プレームン府
 アルザス、ロレーヌ領

合

計

五八

三九七

聯邦議會及ビ代議院ハ皇帝ノ召集ニ依リ毎年之ヲ開會ス皇帝ハ聯邦議會ノ議ヲ經テ代議院ヲ延期シ或ハ之ヲ解散スルノ權アリ然レモ延期ハ六十日ヲ超ユベカラズ若シ解散ノ場合ニハ六十日以内ニ新選舉ヲ施行シ九十日以内ニ新議會ヲ開クベシ凡ソ帝國ノ法律ハ一切聯邦議會及ビ代議院ノ多數投票ヲ得ルヲ要ス又聯邦議會ノ議長ハ帝國掌璽官之ニ補シ代議院ノ議長ハ其議員中ヨリ之ヲ選舉ス
 凡ソ兩議會ニテ通過シタル法律ハ皇帝ノ裁可ヲ得テ其効力ヲ有スルモノニテ掌璽官ノ之ヲ布告センニハ皇帝ノ玉璽ヲ要ス又聯邦議會ノ議員ハ總テ代議院ニ出席シテ討議スルノ權アリ
 帝國國務大臣ハ別ニ内閣ヲ組織セサルモ帝國掌璽官ノ監督ヲ受ケテ別個ニ其主務ヲ行フ者ナリ現今ノ國務大臣ハ左ノ如シ

- 帝國掌璽官
- 帝國司法大臣
- 帝國外務大臣
- 帝國大藏大臣
- 帝國內務大臣
- 帝國遞信大臣
- 帝國海軍大臣
- 右ノ外左ノ諸員アリ
- 帝國鐵道事務長官
- 帝國銀行總裁官
- 帝國會計検査院長
- 帝國廢兵院資金取扱長官
- 帝國公債事務長

第三 面積及人口

獨逸帝國面積人口 (千八百九十年十二月一日調)

聯邦	面積 (方哩)	人口 計
普魯士	一三四、四六三	二九、九五七、三六七
巴伐利亞	二九、二八二	五、五九四、九八二
撒克遜	五、七八七	三、五〇二、六八四
瓦爾登	七、五二八	二、〇三六、五二二
巴登	五、八二一	一、六五七、八六七
ヘッセン	二、九六五	九九二、八八三
メクレンブルク、シユウエリン	五、一三五	五七八、三四二

面積及人口

一五一

フランク	一七九、九八五
フオルト	一六三、五九三
オン	一六一、六六六
マイン	一四四、六四二
ケ	一四三、二四九
ニ	一四二、五九〇
ス	一三九、八一七
シ	一三八、八五四
エ	一二五、八九九
ブ	一二三、五〇〇
ス	一二〇、三三八
ダ	一一六、二二八
ス	一一六、一四四
バ	一〇五、三七六
グ	
レ	
フ	
エ	
ル	
ド	

ア	一〇三、四七〇
ハ	一〇一、四〇一
ツ	
レ	
ン	一〇一、〇四七
ア	
ラ	
ン	
ス	
ウ	
ツ	
ク	

第五 財政 (千八百九十三年度)

千八百九十二年	歳入	歳出
千八百九十三年	一、二〇一、九一九、〇〇〇	一、二二七、二二七、〇〇〇
	一、二五四、九九九、六〇〇	一、二五九、一四六、八〇〇

第六 帝國國債

千八百九十一年度特別歳出七千九百五十萬五千八百マルクニ對スル利付公債總額十六億八千五百五十六萬七千四百マルクニ達シ四分、三分半、三分利付ノ別アリ千八百九十二年三月三十一日未償却ノ大藏省證券ニテ發行セル無利公債額ハ一億二千萬マルクニアリ

第七 教育

教育ハ干渉法ヲ施シ全國ニ普及ス普魯西ノ法律ニ據レバ地方費ヲ以テ各町村ニ小學校ヲ設ケ強テ兒童ヲ就學セシム各聯邦ニ於テモ亦此法ヲ斟酌實施セリ千八百九十一年度ノ初

等學校大學校及ビ千八百八十五年ノ諸種高等學校ハ左ノ如シ

校種	校數	教員	生徒
小學校	五六、五六〇	一一〇、〇三〇	七、九二五、〇〇〇
師範學校	三四七	—	二六、二八一
高等中學校及技藝文學中學校	八五八	—	一八六、七六六
技藝中學校	二七〇	—	四九、一九六
大學校	二二	二、四五二	二七、五〇〇

第八 陸軍

千八百七十一年四月十六日ノ憲法ハ全國ノ民ヲ擧テ自カラ兵役ニ服シ他人ヲシテ代ラシムルヲ許サザル普國ノ兵制ヲ全國ニ及ボシ兵役ニ堪ユルノ年齡即チ滿二十歳ニ達スレバ現役三年豫備役四年合セテ七年間常備軍役ニ服シ常備軍役ヲ終レバ更ニ前期五年後期七年合セテ十二年後備軍役ニ服スベキ者トシ常備及ビ後備ノ軍役ニ在ラザル四十五歳未滿ノ者ハ之ヲ國民軍トシ國民軍中警テ兵役ニ服セザル三十九歳未滿ノ者ハ特ニ豫備軍ノ制ニ倣ヒ之ヲ二百五十二大隊ニ編成スルノ制ヲ定メタリ

軍隊 (千八百九十三年乃至四年平時)

將校 二〇、六六二

兵卒、兵丁 四九一、二二三

馬匹 九三、七五〇

第九 海軍

千八百九十二年ヨリ千八百九十三年ニ至ル豫算案ニ據レバ海軍ノ定員ハ士官機關士醫官ヲ合セ九百七十二人下士官水兵水夫等ヲ合セ一萬七千二百九人トス

艦隊 (「メトリック」噸ハ二百六十五貫六百四十五匁六分)

艦種	艦數	砲數	噸數(メトリック)	馬力	乘員
甲鐵艦	一五	一四五	一一五、〇二四	九三、四〇〇	七、七一〇
小甲鐵艦	一七	二三	二六、三四〇	二九、三〇〇	一、八八四
中軍艦	三	六二	一〇、一四一	一〇、三〇〇	一、三三九
巡邏艦 (哥爾威)	九	一一六	二四、二三三	三一、六〇〇	二、五七二
巡邏艦	六	三四	六、八五六	九、八〇〇	七九九
砲艦	三	一一	一、四六七	一、〇二〇	五五
通報船	八	二二	九、五八九	二六、八五〇	九七〇
練習艦及小艦	九	九二	一八、八〇六	一五、七六〇	三、〇四三
其他	八	五	六、六六七	八、〇六〇	七三五

牛 羊 白 山

鳥 羊

第十一 貿易及交通

獨逸國輸出入概表

品 目	千八百九十一年		千八百九十二年	
	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出
動物	二四六、八三三	二二、七〇八	二六一、一一三	二五、一二五
動物性品	一一〇、四九一	二二、五四九	一一九、八三八	二四、七九九
消 藥 物	一、二六六、四七四	四一六、二二六	一、二四二、九九〇	三四四、七〇四
種子及植物	四〇、四〇九	二五、九七三	四八、九二五	二九、八五五
燃 料	一一六、二三四	一五五、二三〇	九八、二五一	一三四、七〇五
脂肪及油類	二四四、九七〇	二九、六九五	二二一、五〇二	二五、六五四
未製及製造品	二四四、九七〇	二九、六九五	二二一、五〇二	二五、六五四

化學材料及藥品等	二六四、六七〇	二七七、九七三	二六六、三六五	二八六、〇四三
陶磁玻璃器	五九、八六四	一一二、六六四	五九、〇二八	一一〇、二五四
金屬及金屬器	四四七、九四九	五二八、八九五	三八八、一六〇	五一二、一〇五
木 具	二〇四、〇八八	一〇八、九四二	二二四、三〇九	一〇二、二〇〇
紙 製 品	一四、二九六	八八、二三七	一六、七八一	九二、一九四
皮 革 類	一九六、四四八	二三一、六九〇	一七二、九二三	二〇六、八七〇
織 物	一、〇一六、六四四	九五四、八六七	九六二、三二三	九〇三、九五三
樹 脂 類	三四、五六七	二五、〇二三	三四、一〇五	二六、四〇六
諸機械及器具	六五、三四三	一五六、九〇一	五四、四〇一	一五五、三三二
鐵 器 類	三三、四一四	八六、八九八	二四、九一九	七七、六〇〇
文學美術品	三〇、七一〇	九三、七五五	三一、〇七一	九二、七七三
雜	—	五二九	—	五三二
總 計	四、四〇三、四〇四	三、三三九、七五五	四、二七〇、〇〇四	三、一五〇、一〇四

第十二 商船 (千八百九十二年調)

九百四十一艘

七十六萬四千七百一十一噸

風帆船

二千六百九十八艘

七十萬四千二百七十四噸

第十三 鐵道 (千八百九十一年六月調)

獨逸鐵道ノ全長及財政(狹軌鐵道ヲ含ム)千八百九十一年度ハ左ノ如シ

全長 二萬六千九百七十一哩

資本 一百〇七億二千六百二十四萬六千「マルク」

支出 八億七千六百〇五萬四千「マルク」

收入 十三億四千八百八十六萬四千「マルク」

獨逸鐵道ハ多クハ皇室又ハ國有ニシテ私立會社ノ線路三千百二十三哩アリト雖モ其中二百九十六哩ハ政府ノ管理スル所ナリ

鐵道事務所

線長(基)

獨逸

四六

三九、一二二

澳地利匈牙利

二八

二四、六八一

和蘭ルークセンホルク

六

二、七八二

外國

五

三、〇九四

合計

八五

六九、六七九

第十四 郵便

獨逸 全國

二七、六四四

九二、二〇二

一五四、一一七

三、二七四、五三一、二九九

一、三〇八、三三二、一一〇

四〇〇、四六四、七五〇

四八九、〇三五、三六〇

三一、九一二、二三〇

九〇七、七八〇、八三八

一一、四四四、四六四、六七九

第十五 電信 (千八百九十二年)

獨逸 全國

七三、一九八

線長(哩)

郵便 電信

二六三

郵便局

郵便函員

差立總數

書狀

端書

印刷物

物品見本

定時刊行物

貨幣送達額

線 延 長 (哩)
 局 數 計
 內 國 信
 外 國 信

二九五、六二八
 一八、七三九
 二二、二〇九、一四四
 八、九六五、九六五

○佛蘭西 (共和國)

第一政體

佛國現行ノ憲法ニ據レハ立法權ヲ國會ニ歸シ行政權ヲ大統領ニ委任ス國會ハ上下兩院ヨリ成リ下院ノ議員ハ五百八十四人ニシテ普通選舉法ニ依テ選出シタルモノナリ凡ソ國民二十一歳ニ達シ二年以上都邑若クハ郡ニ住居シ公民權ヲ有スル者ハ選舉者タルヲ得ベシ若シ一タビ重罪ノ刑ヲ受ケ若クハ逃亡ノ宣告ヲ受ケタル者ハ永久選舉權ヲ失フ又選舉者ノ資格ハ單ニ佛國人タル公民權ト二十五歳ノ年齢トヲ要スルノミ然レモ曾テ佛蘭西ニ君臨セル皇族ハ下院ノ議員ニ選舉セラル、トヲ得ズ上院ノ議員ハ三百人ニシテ其内七十五人ハ終身議員ナリ而シテ終身議員七十五人ノ議席ハ投票法ニ依リ各州ノ人口ニ比例シテ之ヲ配當セリ又各州ヨリ選出シタル通常議員ハ三等ニ分チ每等其順序ヲ以テ毎三年ニ退

職ス是等ノ議員ハ複選ニシテ先ヅ大小ノ各市邑ヨリ人口ノ多寡ニ準シ多數投票ヲ以テ一人若クハ二人以上ノ選舉者ヲ選舉シ該選舉者ハ二ヶ月ノ後ニ至リ各州會議員及ビ職務上選舉者タル者ト會合シテ之ヲ選舉ス又佛國人ニシテ四十歳以上ノ者ハ皆被選舉權ヲ有ス然レモ王族ハ一切上院議員タル資格ナシ現役ノ陸海軍將官亦其議員タルトヲ得ズ
 大統領ノ選舉ハ兩院合同ノ國會ヲ開キ多數票ヲ以テ之ヲ決シ其任期ヲ七年トシ再選セラ
 ル、ヲ得大統領ハ兩院ト共ニ法律ノ起草權ヲ有シ兩院ノ議定セル法律ヲ布告シ其執行ヲ擔保シ又一個人ノ罪ヲ宥免スルノ權アレモ大赦令ヲ布告スル能ハズ軍備ヲ整ヘ文武ノ官吏ヲ任免スルノ權アレモ總テ其處置ハ内閣員一人ノ副署ナカル可ラズ上院ノ協贊ヲ得テ
 下院ノ任期前ニ之ヲ解散スルノ權アレモ此場合ニ於テハ三ヶ月以内ニ選舉會ヲ開キ新選
 舉ヲ舉行スベシ内閣員ハ兩院ニ對シ政府全体ノ政略ニ於テハ連帶ニ主任ノ政務ニ於テハ
 各個ニ其責ニ任ズ大統領ハ反逆ノ場合ニ責任アルノミ千八百七十五年七月十六日ノ憲法
 特別條項ニ據レバ大統領ハ兩院ノ協贊ナクシテ開戰ヲ宣布スルヲ能ハズ若シ大統領ノ欠
 位ヲ生ズルハ兩院合同シテ直チニ新統領ノ選舉ヲ行ハントヲ要ス現今ノ大統領及ビ内
 閣員ハ左ノ如シ

大統領 フェリス、フォール

内閣長官兼商工務殖民事務長官 尙書、司法、教部長官 外務長官
 大藏長官 陸軍長官 海軍長官 文部長官
 工部長官 内務長官 農務長官

第二 面積及人口 (千八百九十一年四月十二日人口調)

面積 二〇四、〇九二方哩 人口 三八、三四三、一九二方哩

第三 大都府人口 (千八百九十一年)

巴里 二、四四七、九五七 昂 四一六、〇二九
 マルセイユ 四〇三、七四九 ホルドゥ 二五二、四一五
 リーユ 二〇一、二一一 ツールーズ 一四九、七九一
 センテシヤヌ 一三三、四四三 ナント 一二二、七五〇
 ルアーヴル 一一六、三六九 ルーペー 一一四、九一七
 ルーアン 一一二、三五二 リーム 一〇四、一八六

第四 財政

年次 歳入 歳出
 千八百九十二年度 三、三四八、一五八、六二二法 三、三四七、六九一、四八八法

第五 國債

千八百九十三年度 三、四三七、四六三、九五五 三、四三七、三五一、一〇四
 年賦返還公債 三〇一、二七〇、八二四法
 浮債 一一一、五七一、〇七一
 四分半利付公債 三〇五、五四〇、二七六
 三分利付公債 四五六、一二六、九四三
 總計 一、二八四、五〇九、一一四

第六 宗教々育

千八百八十一年十二月ノ人口調査ニ據レバ舊教二千九百二十萬千七百三人新教六十九萬
 二千八百猶太教五萬三千四百三十六無宗教七百六十八萬四千九百六人アリ國法ハ各宗同
 等ト認メ宗派ノ如何ヲ論ゼズ教徒十萬人以上ニ及ア時ハ政府ノ扶助ヲ受クルヲ得千八
 百九十四年ノ歳出豫算ニ據レバ宗教ノ扶助金額ハ左ノ如シ
 宗教管理費等 二五八、〇〇〇法 舊教徒等 四二、二六一、五二三法
 新教徒等 一、五四一、九八四 猶太教徒等 一六七、五三三
 千八百九十年舊教ニ大教長十七名教長六十七名新教ニ牧師七百名猶太教ニ教師五十七名

アリ

教育ハ總テ政府ノ監督スル所ニシテ全國ニ普及シ千八百九十一年ニ公立又ハ私立小學校ナキ町村僅ニ五十八ニ過ギザルニ至リ全國學令兒童ノ數ハ四百六十五萬四千人ニ達セリ今左ニ全國中小學校ノ統計表ヲ掲ケ

校種等	公立	私立	合計	生徒
初等學校	六九、九七五	一七、三九六	八七、三三〇	六、三〇三、四六二
中學校	三九三	—	三九三	九〇、九〇八
總計	七〇、三六八	一七、三九六	八七、七三三	六、三九四、三七〇

千八百八十七年ニ男子師範學校九十、女子師範學校八十一外ニ許多ノ諸藝、工業、專門學校等アリ

大學ハ國立大學院ト總稱シ國內文科大學十五、理科大學十五、法科大學十三、醫科大學六アリ千八百八十四年度ニ其學生四萬千二百三十九人アリ

第七 陸軍

千八百八十二年ノ徵兵法及千八百八十九年及九十二年ノ追加ニヨリ兵役年限ヲ二十五年トシ内三年ヲ現役十年ヲ豫備役次ノ六年ヲ後備役トシ後備ノ豫備ヲ六年トシ一年志願兵

歸休兵ノ制アリ

平時現員 (千八百九十三年)

將校 二八、三七五

兵卒 五三一、五七〇

馬數 一四〇、五二五

第八 海軍

人員

千八百九十三年ノ調ニ據ハレ將校士官等千九百餘人兵卒三萬八百二十餘人其他機關士軍醫等ニ屬スルモノヲ合算スルトキハ總計四萬百三十二人アリ

軍艦

軍艦ノ數ハ總計三百九十三ニシテ内譯左ノ如シ

巡洋甲鐵艦三十二海防甲鐵艦十八甲鐵帶巡邏艦六巡邏砲艦五一等及二等巡邏艦二十二三等巡邏艦九一等報知艦十二二等報知艦八運送報知艦二十二砲艦四十一運送船三十七小砲艦八風帆船演習艦等十八水雷巡邏艦四水雷報知艦八大洋水雷船四一等水雷艇十二二等水雷艇六十七三等水雷艇四十三等水雷艇七水底沒行船一

第九 農工業

穀物及農産物 (千八百九十一年)

輸入出總額

一七〇

小麥	七七、二六五、八二八
大麥	二五、四二〇、四四七
燕麥	一〇六、一四五、一七二
標麥	二一、五八八、九一四
蕎麥	一〇、三〇三、〇八九
玉蜀黍及粟	九、九二八、三九五
葡萄酒	三〇、一六七、〇〇〇
葡葡酒	六、八八三、五八七
糖	六二五、二四二、〇〇〇

千八百九十一年家畜ノ數ハ馬二百八十八萬三千四百六十牛千三百六十六萬千五百三十三
 羊二千七百七十九萬千九百九十九山羊百四十八萬二千二百二十九豚六百九萬六千二百三十二ナリ

第十 輸入出總額

年次	輸入	一般貿易	輸出	特別貿易	輸出
千八百九十一年	五九三八、〇〇〇、〇〇〇	法	四七三〇、〇〇〇、〇〇〇	法	四七六八、〇〇〇、〇〇〇
					三五七〇、〇〇〇、〇〇〇

千八百九十二年

輸入品類別

品目	千八百九十二年	品目	千八百九十二年
酒類	三〇五、〇〇〇	穀類	四八七、〇〇〇
咖啡類	一四五、〇〇〇	砂類	六〇、〇〇〇
粗製羊毛	三一九、〇〇〇	粗製絹類	二五八、〇〇〇
油種	一五四、〇〇〇	皮革類	一四七、〇〇〇
粗製木綿	二〇七、〇〇〇	木材等	一〇四、〇〇〇
石炭	一八五、〇〇〇	鑛物	六四、〇〇〇
家畜	五五、〇〇〇	毛織物	五六、〇〇〇
絹織物	六二、〇〇〇	木綿織物	三九、〇〇〇
亞麻	六二、〇〇〇		

輸出品類別 (再輸出ヲ除ク)

品目	千八百九十二年	品目	千八百九十二年
毛織物	三二九、〇〇〇	絹布類	二四九、〇〇〇

輸入出總額

一七一

水綿類	九六、〇〇〇	熱皮及製品	一一二、〇〇〇
小貨物	一五七、〇〇〇	麻及麻布	一三〇、〇〇〇
精製砂糖	五五、〇〇〇	粗製羊毛及糸	一二〇、〇〇〇
粗製絹及糸	一三二、〇〇〇	金屬器及武器等	八二、〇〇〇
化學製品	五九、〇〇〇	酒	六六、〇〇〇
酒類	二一四、〇〇〇	牛酪、乾酪	八八、〇〇〇
皮革類	七四、〇〇〇		

第十一 商船 (千八百九十二年十二月三十一日)

風帆船	噸數	船數	噸數	船數	噸計	乘組人員
船數	噸數	船數	噸數	船數	噸數	
一四、一七	四〇七、〇四四	一、一六一	四九八、五六二	一五、二七八	九〇五、六〇六	八三、〇三〇

第十二 鐵道

千八百九十三年開業ノ鐵道ハ三萬四千七百九十一基ナリ

第十三 郵便及電信

千八百九十一年公報ニヨレハ郵便局ノ數七千四百四十九郵便函五萬八千四百六十四ニシ

テ郵便ノ數内國十五億四千九百一十一萬七千萬國共通二億五千二百六十八萬二千ナリ又電信線長五萬九千六百九十三哩延長十九萬七千六百二十二哩ナリ電信局數一萬五百八十九ニシテ内國信三千三百四十三萬九千九百四十七萬國共通信五百三十萬六千三百三十七通過信百五十七萬千六百六十八官信五百一萬千四百三十六ナリ

第十四 殖民地及保護領面積人口 (千八百九十年)

殖民地	面積 (方哩)	人口
印度	二〇三	二八三、〇五三
ノツシヤ	一一三	七、七〇〇
交趾支那	二二、〇〇〇	一、八七六、六三九
シヤム	八〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
東京	三四、七〇〇	一一、〇〇〇、〇〇〇
亞細亞計	一三七、九〇三	一七、一五九、六九二
アルジュリ	一八四、四七四	四、一二四、七三二
セ子ガル及屬地 ガボン及ギニア海岸 佛領スダン及ニガ	三八六、〇〇〇	五、〇四八、〇〇〇

レ ユ ニ カ ン	一、〇〇〇	一六七、八四七
シ ン ト、マ リ ー(馬 島)	六四	七、六六七
メ ー ヨ ツ ト	一四三	八、七〇八
オ ホ ボ ツ ク	四六、三二〇	二〇〇、〇〇〇
阿 弗 利 加 計	八七六、七三四	一四、五六四、六五四
新 カ レ ド ニ ヤ	七、七〇〇	六二、七五二
太 洋 洲 屬 地	一、〇六二、六七八	三二、一〇一、五四九
太 洋 洲 計	一、〇七一、八四三	三二、一九四、五四四
セ ン ピ エ ル ト 及 ミ ク ロ ン	九〇	五、九二九
グ ワ テ ア ル ー プ 及 屬 地	七二〇	一六五、七六一
マ ル チ ニ ツ ク	三八〇	一七五、八六三
佛 領 ゴ イ ヤ ナ	四六、八五〇	二九、六五〇
亞 米 利 加 計	四八、〇四〇	三七七、二〇三
總 計	一、〇七一、八四三	三二、一九四、五四四
保 護 領 面 積 (方 哩)		人 口

突 尼 士	四五、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
マ ダ ガ ス カ ル	二二八、五〇〇	三、五〇〇、〇〇〇
安 南	一〇六、二五〇	五、〇〇〇、九〇〇
東 蒲 塞	三三、三九〇	一、五〇〇、〇〇〇
コ モ ー ル 島	八〇〇	四七、〇〇〇
サ ハ ラ 地 方	一、〇〇〇、〇〇〇	
合 計	一、四一二、九四〇	一四、五四七、〇〇〇

○英吉利 (王國)

第一 王室

英國女王兼印度皇帝ヅ#クトリアハ千八百十九年五月二十四日生レ千八百三十八年六月位ニ即ク

皇太子アルバート、エドワードハ千八百四十一年十一月九日生ル

第二 政體

英國至高ノ立法權ハ憲法ニ基キ國會ニ屬セリ國會ハ上下二院ニ分レ上院ヲ貴族院ト稱シ

下院ヲ衆議院ト稱ス上院ハ左ノ議員ヨリ成ル

- 第一 世襲權アル者
- 第二 君主ノ命シタル者
- 第三 官職ニ依テ其權利ヲ得ル者(英克倫教長)
- 第四 終身間選任セラレタル者(愛耳蘭貴族)
- 第五 國會ノ會

期間選任サレタル者(蘇格蘭貴族)

千八百八十八年上院ノ議員ハ全員五百六十八人ニシテ王族五人、大教長二人、公爵二十二人、侯爵二十人、伯爵二十人、子爵二十八人、男爵二百九十五人、教長二十四人、蘇格蘭貴族代議士十六人、愛耳蘭貴族代議士二十八人ナリ。是等世襲貴族ノ三分二ハ當世紀間ニ新立シタルモノニシテ世襲貴族中、四家ハ最モ舊家ニ係リ十三世紀ノ末ニ立テラレタルモノナリ。下院ハ全國ノ衆民ヲ代表スル處ニシテ郡、市、邑ノ代議士ヨリ成リ是等ノ代議士ハ議場ニ於テハ均シク其議權ヲ有ス。

下院ノ議員條例ハ千八百八十四年ノ議員條例ニ依テ英、蘇、愛ノ三國ハ共ニ均一ノ選舉資格ヲ享有スルモノト規定セリ。今此新條例ノ要領ヲ擧グレバ家屋所有者及ビ寄寓者ハ全國ノ全郡邑ニ於テ均一ノ選舉權ヲ享有スル者ト確定セラレベシ。家屋所有者及ビ寄寓者ノ資格ヲ有スル者ニシテ資格タル家産英、蘇兩國中ノ郡ニ存スル時ハ其郡ノ選舉者トシテ選舉簿ニ登記セララル、チ得ベシ。既ニ登記セララル、時ハ郡ニテ選舉ヲ爲スチ得ベシ。若シ又其

資格タル家産愛耳蘭ノ郡邑ニ存スル時ハ選舉者トシテ選舉簿ニ登記セララル、チ得ベシ。已ニ登記セララル、時ハ其郡邑ニテ選舉ヲ爲スチ得ベシ。又職業、勤務等ノ爲メニ或ル家屋ノ居住人ニシテ其家屋ニ此居住人ヲ使役スル人ノ住居セザル時ハ此居住人ハ均シク家屋所有ノ住民ナリト認定セララル、チ得ベシ。又合衆王國ノ郡邑ニ年十磅(凡五十圓)ヨリ少ナカラザル價額ノ土地若クハ借地ヲ有スル者ハ選舉者トシテ選舉簿ニ登記セララル、チ得ベシ。已ニ登記セララル、時ハ土地ヲ所有シ若クハ借有スルノ故ヲ以テ其郡邑ニテ選舉ヲ爲スチ得ベシ。又此同様ノ條件ヲ具ヘタル者ハ選舉者トシテ選舉簿ニ登記セララルベシ。然ル時ハ各自其家産ノ存在スル郡若クハ邑ニテ選舉ヲ爲スチ得ベシ。又選舉ハ總テ無名投票法ヲ採用ス。

國會議員タル資格ハ單ニ二十一歳ノ年齢ヲ要スルノミ然レモ英克倫寺院ノ僧侶、蘇格蘭寺院ノ牧師、舊教ノ僧侶ハ議員タルチ得ズ。政府ノ承辦者、各地方ノ郡長及ビ選舉事務吏ハ選舉被選舉權ナシ。愛耳蘭貴族ハ下院議員ニ選舉セララル、チ得ルモ英、蘇兩國ノ貴族ハ此權ナキ者ナリ。

千八百八十五年議席分配條例ヲ制定シテ議員ノ數ヲ増シ蘇格蘭ヨリ十二人、英克倫ヨリ六人ヲ増加シ現今下院ノ全員六百七十八人ニシテ其撰出ノ比較ヲ示セバ左ノ如シ。

議員ノ選出場所		現在數	議員ノ選出場所		現在數
英克倫	郡	二五三	蘇格蘭	郡	三九
英克倫	邑	二三七	蘇格蘭	邑	三一
大學校		五	大學校		二
愛耳蘭	郡	八五	合衆王國	郡	三七七
愛耳蘭	邑	一六	合衆王國	邑	二八四
大學校		二	大學校		九

行政權ハ名義上ニ於テハ國王ノ掌握スル所ナリト雖モ其實際ニ至テハ全ク内閣員ノ手ニ在リ内閣員ハ國王ノ親任スル者ナリト雖モ其實下院ヨリ命セラル、者ニシテ下院ノ多數ニ依テ其地位ヲ保ツ内閣ハ左ノ諸大臣ニヨリテ組織セリ

内閣總理大臣兼外務大臣	印度事務大臣	大法官
海軍大臣	樞密院議長	愛耳蘭大法官
愛耳蘭總督	内務大臣	ランカスター公國大法官
陸軍大臣	商務局長	大藏大臣
殖民事務大臣	地方政務局長	掌璽官

第三 面積及人口

合衆王國及ヒ殖民地

國名	面積	人口
合衆王國	一二〇、八四九	三七、八七九、二八五
印度	一、八〇〇、二五八	二八七、二二三、四三一
其他亞細亞	二六、九七六	三、七九〇、五七五
亞非利加	三五九、〇七三	四、九六一、五四六
亞米利加	三、六一四、二二四	六、七二一、二五一
濠洲	三、二五九、一九九	四、二八五、二九七
倫敦	第四 大都府人口(千萬以上) (千八百九十三年)	
リグハーパール	四、三〇六、四一一	マンチエスター 五一五、五九八
リグハーパール	五一〇、五一四	バーミンガム 四八七、八九一
リグハーパール	三八二、〇九三	セツプフィールド 三三三、九二二
エジンバーク	二五八、六二九	ウエストハム 二二七、四〇五
プリストル	二二五、六二八	ブラッドフォード 二二一、六一一

面積及人口 大都府人口

一七九

財政 國債

二八〇

ノッチンハム	一二〇、五五一	ギンカストーンアボンハル	二〇八、七〇九
サルフォード	二〇三、四三一	ニューカッスル	一九六、九九七
レスター	一八四、五四七	ホールツマウス	一六七、二七七
カルジツフ	一四二、四三五	オールドハム	一三六、四六九
サンダーランド	一三四、五一五	ブラックバルン	一二四、〇〇五
アライトン	一一七、八三三	ホルト	一一七、二七八
プレストン	一一〇、二二五	クロイドン	一〇八、九九七
ノルウヰッチ	一〇四、一八四	バルケンヘッド	一〇三、八一七

屬國及ビ殖民地ノ都邑ハ下ニ掲グ

第五 財政

歳入出豫算

年	度	歳	入	歳	出
千八百九十二年		九〇、四三〇、〇〇〇	磅	九〇、九二四、〇三六	磅
千八百九十一年		八七、六一〇、〇〇〇		八八、五一一、九四三	
第六 國債		(公債元金)		(千八百九十三年三月三十一日)	

有利公債

五八九、五三三、〇八二

年賦償還金

六〇、七六一、四九〇

無利公債

二〇、七四八、二七〇

他ノ負債

五〇二、七七九

ルミアンダツチ負債

六八九、二九九

帝國防禦條例(一八八八)

五四二、五四四

バラツク條例(一八九〇)

八六、四七四

電信條例

七八三、六二六

豫備銀行等不足

六七三、六四七、五六四

概負債總計

六七三、六四七、五六四

第七 宗教教育

英克倫ノ國教ハ新教「エビスコパル」宗ナレ他ノ宗教モ亦十分ニ其信仰ノ自由ヲ許シ總テ英國ノ臣民ハ其宗教ノ異同ニ依テ公權ヲ失フコナシ
英國女王ハ法律ニ依テ國教ノ總管ト爲リ大教長及ビ教長ノ欠員アル場合ニ於テハ之ヲ指名スルノ權アリ蓋シ指名ノ法ハ女王ハ先ツ欠員ヲ生シタル法教管區ノ法教議會ニ向テ大

宗教々育

一八一

教長等ノ補欠選舉ヲ爲スノ免許狀ヲ與ヘ同時ニ其選舉セラレベキ人ヲ指名シタル勅書ヲ
 交附シ然ル後ニ國璽ヲ鈐シテ其任命ヲ確定ス然レモ此法ハ單ニ舊時ノ開基ニ係ル法教管
 區ニノミ適用スルモノニシテ其他ハ總テ直接ニ女王之ヲ選任ス
 英國ノ高等教育ハ大學校及ヒ專門學校ニテ之ヲ教授ス倫敦大學校ハ試驗學校ニシテ學生
 ナ試験シテ之ニ學位ヲ授與スルノ權ヲ有ス中等教育ハ完全ノ組織ナク概子之ヲ私立ニ放
 任シ信據スヘキ統計表ナシ初等教育ハ小學令ニ由リ各學區ニ別チ五歳ヨリ十三歳ニ至ル
 兒童ノ爲メニ就學ノ法設備セリ

千八百九十三年	校數	教員	生徒
大 學 校	六八	一、三九七	二二、八五七
千八百九十二年	校 數	學齡生徒	出席生徒
小 學 校	一九、五一五	六、七〇八、五〇四	三、八七〇、七七四

第八 陸軍

常備兵ノ配置人員

配置地方	人員	馬 匹	野 砲
(イ) 英 克 倫	七七、〇六三	一〇、二五六	二二六

(ロ) 蘇 克 蘭	三、六八六	三三三	四
(ハ) 愛 耳 蘭	二七、一五五	三、一八七	五二
内地計	一〇七、九〇四	一三、七六六	二八二
埃 及	二、八一三	三七一	
殖 民 地	三一、〇八五	六二〇	
印 度	七五、九八七	一一、二七九	三一八
海 外 計	一〇九、八八五	一二、一七〇	三一八
總 計	二二七、七八九	二五、九三六	六〇〇

第九 海軍 (千八百九十二年度)

海軍現役人員ハ艦隊乗込將校及ヒ水兵合六萬八千八百五十一人海岸警備兵四千二百人各
 種ノ役員千四十九人アリ之ニ豫備ノ將校水兵等ヲ合計スレバ惣員十萬七百五人アリ

艦隊類別 (千八百九十二年)

艦 種	艦 數	噸 數
甲 鉄 艦	一七	一、九七〇
一等 戰 艦	一七	一七、八七〇
艦 種	噸 數	噸 數
コルベット艦	一	一、九七〇
スloop艦	一七	一七、八七〇

二等戰闘艦	一五	九七、〇一〇	一等砲艦	八	六、三〇二
三等戰闘艦	六	五五、六六〇	二等及三等砲艦	六二	二四、三二六
海防艦	一二	三七、二三〇	水雷巡洋艦	一〇	一七、三二〇
一等巡洋艦	一二	七六、六五〇	水雷砲艦	四	二、一二五
合計	六二	四三一、八八〇	一等水雷艇	八〇	四、一七八
裝甲艦			二等水雷艇	五一	六一三
一等巡洋艦	一〇	三九、〇〇〇	水雷報知艦	二	三、三五〇
二等巡洋艦	一八	三六、九〇〇	水雷母艦	一	六、四〇〇
水雷撞突艦	一	二、六四〇	特別艦船	一四	九、四一九
合計	二九	七八、五四〇	雜種艦船	二二	三四、三八二
非裝甲艦			合計	二八二	一六八、七二四
二等巡洋艦	一〇	四〇、四七〇	惣計	三七三	六七九、一四四

第十 農工業

各種農作地面積及家畜類頭數(大不利願)

千八百九十三年

地種

千八百九十三年

穀物作付地	七、六五五、七三九	菜園	三、二六八、九〇六
牧草地	四、五六九、六三〇	牧場	一六、四九二、五六七
麻畑	一、二五八	ホッア畑	五七、五六四
菓實園	六五、四八七	休耕地等	五一四、五五八
家畜		家畜	
馬	一、五二四、五二七	牛	六、七〇〇、六七六
羊	二七、二八〇、三三四	豚	二、一一三、五三〇
種目	千八百九十三年	種目	千八百九十三年
小麥	一、八九七、五二四	大麥	二、〇七五、〇九七
燕麥	三、一七一、七五六	馬鈴薯	五二七、八二一
燕豆	一、九七五、二三五	荳類	二四四、九五四
豌豆	二一〇、四七九		
地種	千八百九十三年	地種	千八百九十三年

重要穀物作付面積(大布利願)

各種農作地面積及家畜類頭數(愛耳蘭)

穀物作付地	一、四八九、三九三	菜園	一、二五三、五二七
麻畑	六七、四四四	休耕地等	二二、〇三八
牧草地	一、三〇〇、一六八	牧場	一一、一七五、八四四
家畜		家畜	
馬	五四五、一八〇	牛	四、四六四、〇二六
羊	四、四二二、五九三	豚	一、一五二、三六五
種目	千八百九十三年	種目	千八百九十三年
小麥	五四、九八八	大麥	一六八、九八四
燕麥	一、二四八、三六〇	荳類	三、二八〇
豌豆	三二六	馬鈴薯	二七三、五三六
燕菁	三〇二、八二〇		
織物製造 (千八百九十年)			
國名	製造所	紡錘	織機
英克倫及威耳斯	六、一八〇、五〇、二二、二六	七二、四〇六	三五七、八四八
			五〇〇、四〇四
		男	女
		工	計
		八五八、二五二	

蘇格蘭	七四七	二、四二三、七三五	七二、四七一	四六、三八六	一〇八、二〇五	一五四、五九一
愛耳蘭	二六三	一、〇二六、一一一	二八、六二二	二二、八四八	四七、九四〇	七一、七八八
總計	七一九〇	五三、六四二、〇六二	八二、四八九	四二八、〇八二	六五六、五四九	一、〇八四、六三一
鐵及石炭產出高						
年次	數量	價額	數量	價額	數量	價額
千八百九十一年	一八五、四七九、一二六	七四、〇九九、八一六	一一、七七七、六八九	三、三五五、八六〇		
千八百九十二年	二八一、七八六、八七一	六六、〇五〇、四五二	一一、三三二、六七五	二、九七〇、六三二		
第十一 貿易						
輸入出總額						
年次	輸入	英國產	外國及屬地	輸出	輸入出合計	
千八百九十二年	四二二、八九二、一七八	二二七、〇七七、〇五三	六四、五六三、一一三	七一五、四三四、〇四八		
千八百九十三年	四〇五、〇六七、六九〇	二二八、四九六、二四六	五八、九三五、五九五	六八二、四九九、五三一		
穀類及麪粉	五一、二九九、八〇二	動	物	六、三五一、七〇四		

粗製綿花	三〇、六八四、九四二	油類	七、四〇九、八四一
羊毛及小羊毛	二四、四三七、一七八	化學品染料等	六、三五三、六四三
アッドミート	二二、三三一、五〇三	種子	七、〇一六、五三九
粗及精製砂糖	二二、〇八五、二四一	菓實	六、〇三五、〇四二
乾酪及マーガリン	一六、四一〇、四五七	皮革	六、五八〇、二二二
材木類	一五、三九〇、八九四	酒	五、三〇三、二九四
絹製造物	一一、六〇七、三九一	乳餅	五、一六〇、九一八
亞麻大麻黃麻	八、二九四、五五三	金屬及製造物	一六、三七二、六二九
茶	一〇、二一七、〇七一	卵	三、八七五、六三九
毛製造物	九、八七五、一八一	珈琲	四、〇〇一、二八〇
烟草	三、五六六、〇六一		
輸出品類別			
棉花製造品	六三、七七七、一八〇 ^磅	鐵器及刃物	二、〇四八、〇四二 ^磅
毛製造品	二〇、九六一、八八一	銅	三、〇二二、六五一
麻製造品	五、七八四、一五一	器	一三、九七〇、二八五

黃麻製造品 二、六八九、七九〇 石炭燃料等 一四、四八八、一五四
 衣服及小間物 五、七五九、九一三 化學品 八、六九五、二三四
 金屬類(鐵及鋼鐵) 二〇、六一四、一五五

第十二 商船 (合衆王國及マン島海峡島共)

登記セシ船舶數

年次	船風數	帆噸	船數	船噸數
一八九一	一三、八二三	二、九七二、〇九三	七、七二〇	五、三〇七、二〇四
一八九二	一三、五七八	三、〇八〇、二七二	七、九五〇	五、五六四、四八二

第十三 鐵道

鐵道 二萬三百二十五哩 收入 八千二百九萬二千四十磅

第十四 郵便

千八百九十三年三月三十一日局數一萬九千六百二十五ニシテ千八百九十二年度ノ發信數等ハ左ノ如シ

郵便種別

郵便種別